

# 景況などに関する会員アンケート

## 調査結果

2019年4月

北陸経済連合会

# 目 次

<b>1. アンケート調査実施概要</b> . . . . .	1
<b>2. アンケート調査結果概要</b> . . . . .	2
総括 . . . . .	2
I. 景気動向 . . . . .	3
II. 業績 . . . . .	5
III. 設備投資 . . . . .	7
IV. その他 (1. 採用活動について) . . . . .	9
(2. Society 5.0 について) . . . . .	11
<b>参考 (アンケート調査結果)</b> . . . . .	13
I. 景気動向 . . . . .	13
II. 業績 . . . . .	16
III. 設備投資 . . . . .	19
IV. その他 (1. 採用活動について) . . . . .	23
(2. Society 5.0 について) . . . . .	28

# 1. アンケート調査実施概要

## ○実施概要

北陸の景気動向や業況その他について、会員の意見、要望を迅速かつ的確に把握し、各方面への要望活動に活かすため、北陸地域の景況などに関するアンケート調査を実施した。[今回で41回目]

以下、その結果を報告する。

## ○調査時期

2019年3月1日～3月15日

## ○調査対象

北陸経済連合会会員企業

## ○回収率

回答率50.3% (送付企業304社、回収数153社)

## ○調査企業概要

本社の所在地	回収数	割合
富山県	54	35.3%
石川県	53	34.6%
福井県	18	11.8%
北陸三県以外	28	18.3%
計	153	100.0%

資本金	回収数	割合
1億円未満	54	35.3%
1億円～10億円未満	42	27.5%
10億円以上	57	37.3%
計	153	100.0%

調査結果の取りまとめにおいては、規模別を以下の基準で分類することとする。

### 【規模別】

- 大企業：資本金10億円以上
- 中堅企業：資本金1億円以上10億円未満
- 中小企業：資本金1億円未満

	業種	回収数	割合
製 造 業	食料品製造業	4	2.6%
	繊維工業	4	2.6%
	木材・紙・パルプ製造業	1	0.7%
	出版・印刷・同関連業	4	2.6%
	化学工業	2	1.3%
	鉄鋼業・非鉄金属製造業	5	3.3%
	金属製品製造業	13	8.5%
	機械工業	5	3.3%
	その他製造業	15	9.8%
	小計	53	34.6%
非 製 造 業	卸売業	15	9.8%
	小売業	5	3.3%
	建設業	25	16.3%
	電気・ガス・水道業	2	1.3%
	運輸業	5	3.3%
	農・林・漁業	0	0.0%
	鉱業	0	0.0%
	金融業・保険業	15	9.8%
	不動産	2	1.3%
	サービス業	19	12.4%
	その他の非製造業	12	7.8%
小計	100	65.4%	
計	153	100.0%	

## 2. アンケート調査結果概要

### [ 総 括 ]

**北陸の景気動向** 現在は好調を維持しているが、前期より景況感は後退している。  
来期は悪化を見込む回答が多くなっている。

- 2018年度下期の景気動向については、前期（2018年度上期）と比べて「良くなった」「やや良くなった」と答えた企業が20.9%で、「やや悪くなった」「悪くなった」の17.0%を上回っており、「変わらない」と答えた企業が62.1%と大半を占めている。
  - 2018年度下期の景気について、景気判断BSI（「良くなった」と答えた割合から「悪くなった」を引いた値）でみると3.9となり、前回調査（2018年度上期）の41.8から減少している。
- また、来期（2019年度上期）の見通しの景気判断BSIは▲3.2（今期3.9）と2016年度上期（▲4.0）以来のマイナスとなり、悪化を見込むが多くなっている。

### 業績

現在は高水準で推移。  
来期は改善を見込んでいるが、製造業で悪化のきざしもみられる。

- 現在の業績水準については、「大変良い」「良い」とみている企業が41.2%（前回41.7%）、「どちらともいえない」とみている企業が42.5%（前回46.6%）、「悪い」「大変悪い」とみている企業が15.0%（前回11.0%）と、引き続き高水準である。
- 2018年度下期の業績の前期（2018年度上期）との比較では、業績判断BSI（「改善」と答えた割合から「悪化」を引いた値）でみると、今期は4.0と、前回調査（11.1）から減少している。規模別では、大企業が12.3（前回16.1）、中堅企業が▲16.6（前回2.2）、中小企業が11.1（前回12.7）となり、特に中堅企業では悪化した企業の方が上回っている。
- 来期（2019年上期）見通しの業績判断BSIは9.7と今期（4.0）に引き続き改善を見込む企業が上回っているが、製造業では▲1.9（今期1.9）と悪化を見込む企業が上回っている。

### 設備投資

現状の設備水準は適正とする企業が多数で、  
2019年度の設備投資見通しは引き続き増加傾向。

- 現在の設備水準については、「適正である」と答えた企業が72.5%で、前回調査（76.5%）同様、大半を占めた。また、「不足」「非常に不足」とする企業（20.3%）が「非常に過剰」「過剰」とする企業（6.5%）を上回った。
- 設備投資の前年対比については、2018年度は「増加した」と答えた企業（32.0%）が「減少した」と答えた企業（9.8%）を上回った。2019年度の見込みについても、「増加する」と答えた企業（38.6%）が「減少する」と答えた企業（10.5%）を上回り、引き続き設備投資は増加傾向にある。

### その他

#### 1. 採用活動について

- 2018年度採用活動（2019年4月新卒者等）では82.4%の企業が採用を行っており、採用者の構成としては製造業では高校卒、非製造業では学部卒が多く採用されている。
- 採用活動の充足率については、全産業で55.8%（前回調査61.8%）の企業が90%以上と答えており、前回調査より減少している。規模別に見ると大企業（75.7%）に比べ、中堅企業（47.2%）、中小企業（45.0%）と低下する。

#### 2. Society5.0（※）実現にむけての取組み状況について

※IoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）、自動運転等のデジタル革新をきっかけにサイバー空間（仮想空間）と現実空間を高度に融合させたシステムにより、社会課題の解決と経済発展を両立する人間中心の第5段階の新たな社会。

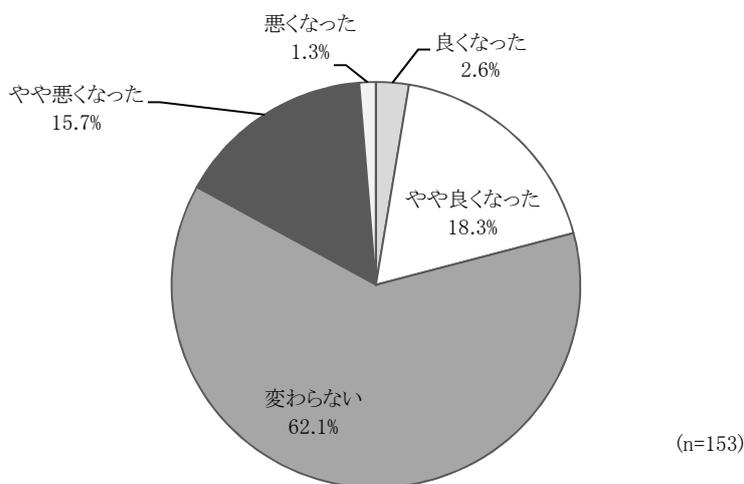
- Society5.0に対して、全産業では66.7%が前向きに捉えており、29.4%が前向きに捉えていない。規模別でみると、Society5.0に対して前向きに捉えている割合は大企業（82.5%）が最も多く、中堅企業（64.3%）、中小企業（51.9%）と続き、大企業の方が前向きに捉えている傾向にある。
- Society5.0を前向きに捉えている理由としては、「生産性の向上、業務の効率化」（81.4%）が最も多い。前向きに捉えていない理由としては「設備投資額の増加」（46.7%）が最も多い。
- IoT（モノのインターネット）の導入状況は、全産業で28.1%が導入済で、業種別では製造業（35.8%）の方が、非製造業（24.0%）より多くなっている。
- AI（人工知能）の導入状況は、全産業で11.1%が導入済で、業種別では非製造業（13.0%）の方が、製造業（7.5%）よりも多くなっている。

## I. 景気動向

現在は好調を維持しているが、前期より景況感は後退している。  
来期は悪化を見込む回答が多くなっている。

- ・ 2018年度下期の景気動向については、前期（2018年度上期）と比べて「良くなった」「やや良くなった」と答えた企業が20.9%で、「やや悪くなった」「悪くなった」の17.0%をやや上回っており、「変わらない」と答えた企業が62.1%と大半を占めている。（図表1）
- ・ 2018年度下期の景気について、景気判断BSI（図表2、※）では3.9となり、前回調査（2018年度上期）の41.8から減少している。業種別にみると、製造業が0.0（前回34.5）、非製造業が6.0（前回45.3）と、どちらも減少している。
- ・ 来期（2019年度上期）の見通しについては▲3.2と今期（3.9）から悪化し、悪化を見込む企業が上回っており、特に製造業は▲18.9（今期0.0）と悪化を見込む企業が多くなっている。（図表2）
- ・ 2018年度下期の北陸地域の景気については、「すでに回復」「回復基調」とみる企業が50.3%で、「底這い」「下降」と見る企業（39.2%）を上回っているが、前回調査（76.7%）よりも減少している。（図表3）
- ・ 現在の景気が「すでに回復」「回復基調」とした企業について、回復した理由を尋ねたところ、「設備投資の回復」が51.9%と最も多く、「企業収益の回復」が45.5%、「個人消費の回復」が36.4%で続いている。（図表4）
- ・ 一方、現在の景気が「底這い」「下降」とした企業に対し、今後回復に転じると予想される時期について尋ねたところ、2019年度上期が13.3%、2019年度下期が20.0%、2020年度上期が28.3%、2020年度下期以降とみる企業が20.0%となっている。（図表5）

図表1. 2018年度下期の景気（前期比）



図表2. 2018年度下期の景気判断と見通し

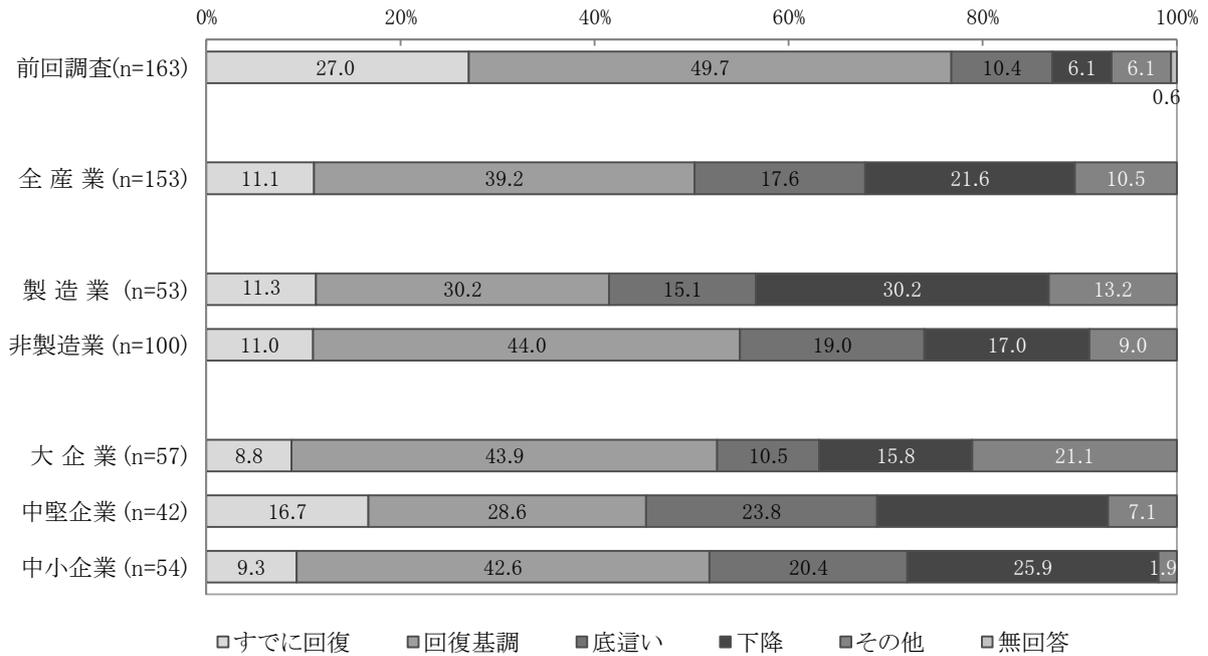
※景気判断BSI

（「良くなった」「やや良くなった」） - （「悪くなった」「やや悪くなった」）社数構成比 単位：%ポイント

	前回調査		今回調査			
	2018年4～9月(前期)		2018年10～3月(今期)		2019年4～9月(見通し)	
	景気判断BSI		景気判断BSI	変化幅	景気判断BSI	変化幅
全産業	41.8		3.9	▲ 37.9	▲ 3.2	▲ 7.1
業種	製造業	34.5	0.0	▲ 34.5	▲ 18.9	▲ 18.9
	非製造業	45.3	6.0	▲ 39.3	5.0	▲ 1.0
規模	大企業	53.2	14.1	▲ 39.1	5.3	▲ 8.8
	中堅企業	41.4	▲ 7.2	▲ 48.6	▲ 16.7	▲ 9.5
	中小企業	29.1	1.8	▲ 27.3	▲ 1.9	▲ 3.7

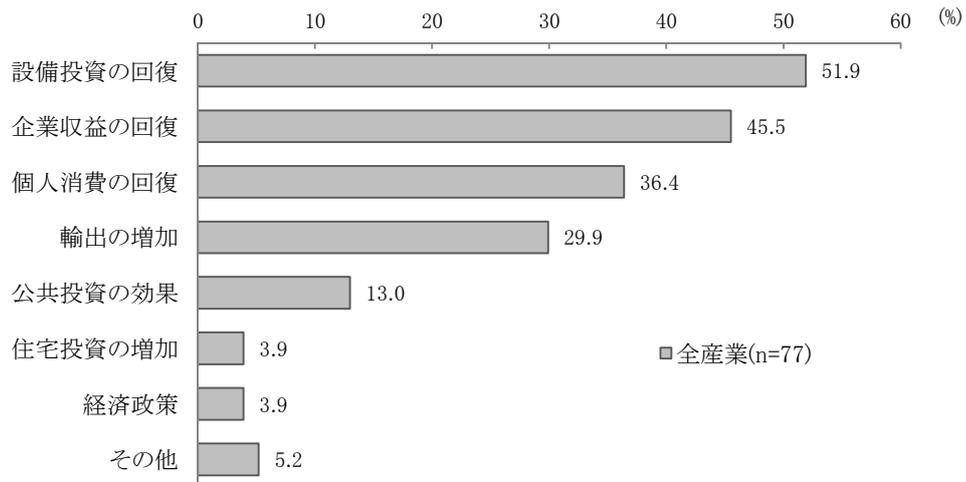
注) 2018年10～3月(今期)の変化幅は2018年4～9月(前期)との対比、2019年4～9月(見通し)の変化幅は2018年10～3月(今期)との対比。

図表3. 2018年度下期の景気基調



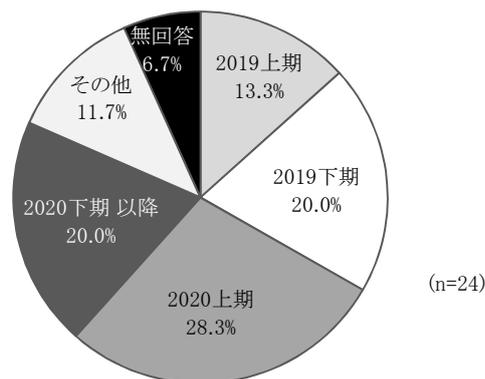
図表4. 2018年度下期の景気が良い理由（複数回答）

景気が「すでに回復」「回復基調」と回答された企業



図表5. 北陸地域の景気が回復に転じる時期

景気が「底這い」「下降」と回答された企業



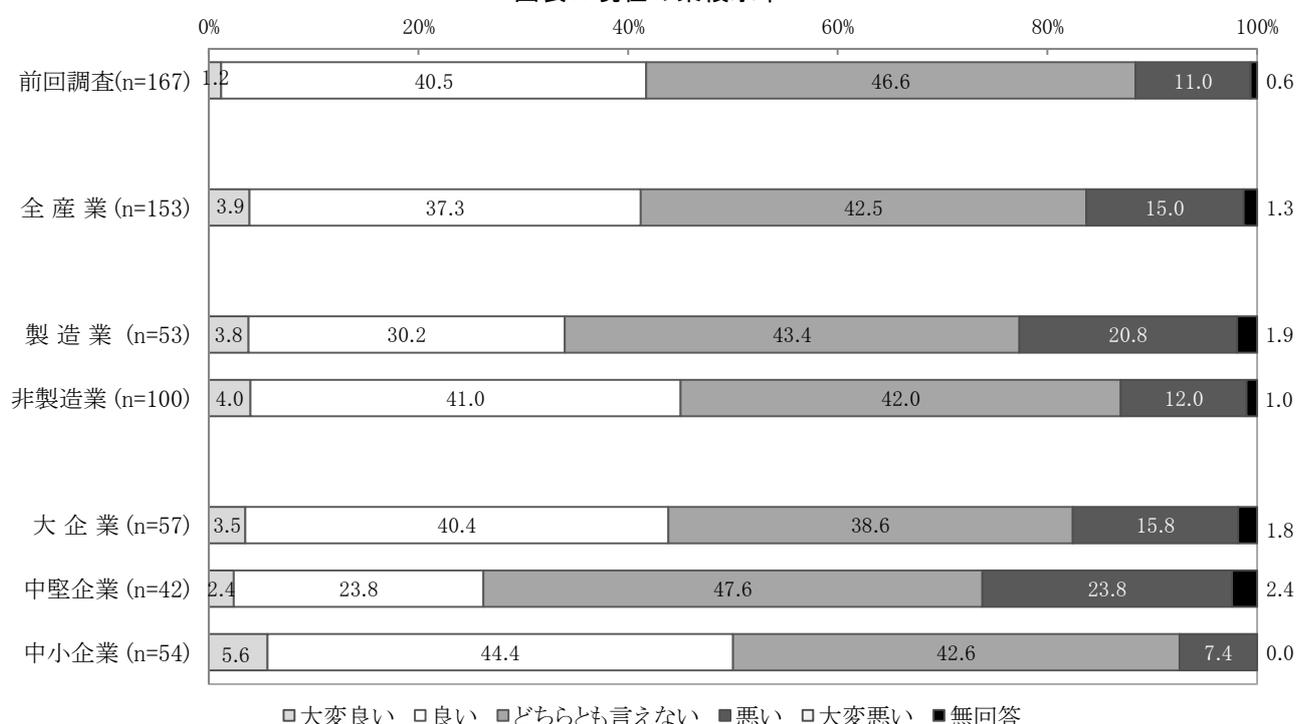
## Ⅱ. 業績

現在は高水準で推移。

来期は改善を見込んでいるが、製造業で悪化のきざしもみられる。

- ・現在の業績水準については、「大変良い」「良い」とみている企業が41.2%(前回41.7%)、「どちらともいえない」とみている企業が42.5%(前回46.6%)、「悪い」「大変悪い」とみている企業が15.0%(前回11.0%)となっており、引き続き高水準である。(図表6)
- ・2018年度下期の業績について、業績判断BSI(図表7 ※)の現状判断は、4.0となり、前回調査(2018年度上期)の11.1から減少している。
- ・業種別で見ると、製造業が1.9(前回16.4)、非製造業が5.0(前回8.3)とどちらも減少している。(図表7)
- ・規模別では、大企業が12.3(前回16.1)、中堅企業が▲16.6(前回2.2)、中小企業が11.1(前回12.7)となり、いずれも前回調査(2018年度上期)と比べ減少している。特に中堅企業では改善した企業よりも、悪化した企業の方が上回っている。(図表7)
- ・来期(2019年度上期)の見通しについては9.7と今期(4.0)に引き続き改善を見込む企業を上回っているが、製造業では▲1.9(今期1.9)と悪化を見込む企業の方が上回っている。(図表7)
- ・経営上の課題では、「人材養成・確保」(80.4%)が最も多く、次いで「国内販売力の強化」(50.3%)となり、「新商品開発」(30.7%)、「新分野への進出」(28.8%)がこれに続いている。(図表8)

図表6. 現在の業績水準



図表7. 2018年度下期の業績判断と見通し

※業績判断BSI

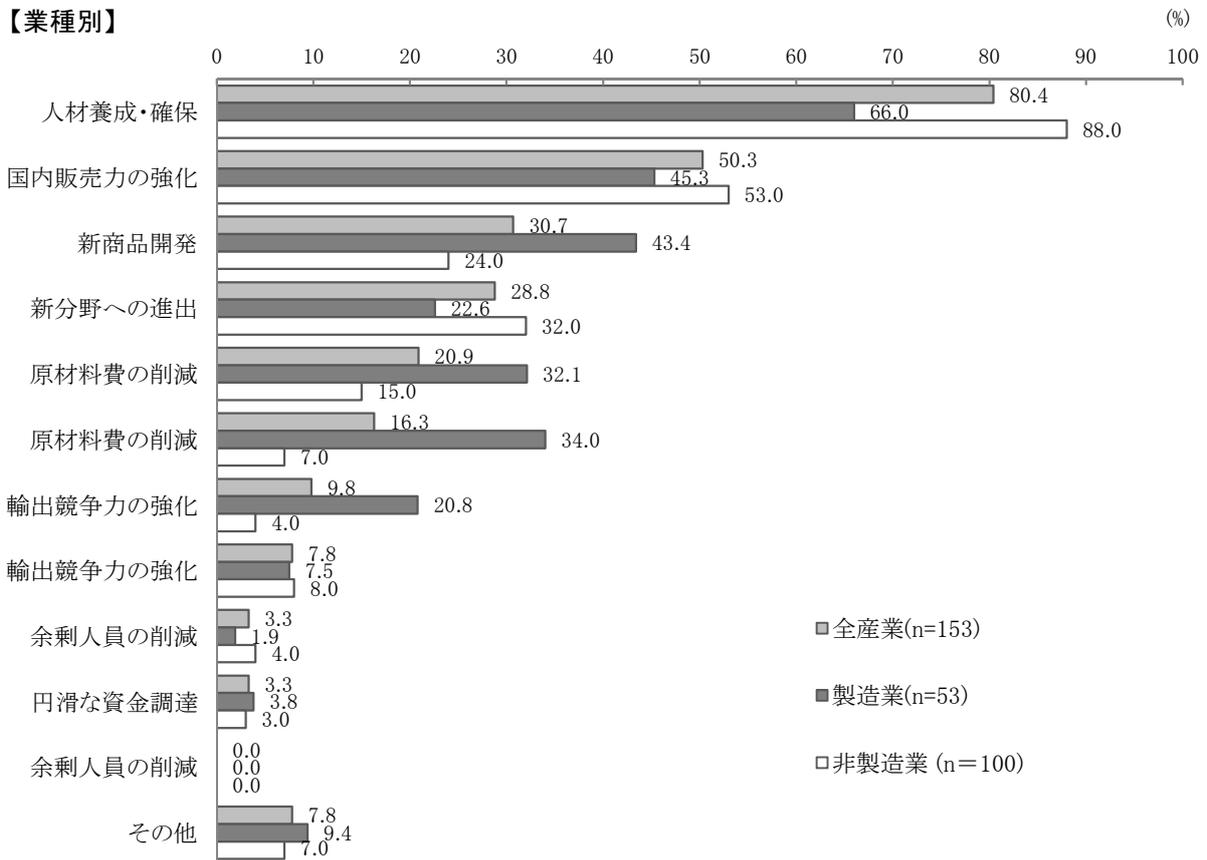
(「改善」「やや改善」) - (「悪化」「やや悪化」) 社数構成比

単位:%ポイント

	前回調査		今回調査			
	2018年4~9月(前期)		2018年10~3月(今期)		2019年4~9月(見通し)	
	業績判断BSI		業績判断BSI	変化幅	業績判断BSI	変化幅
全産業	11.1		4.0	▲ 7.1	9.7	5.7
業種	製造業	16.4	1.9	▲ 14.5	▲ 1.9	▲ 3.8
	非製造業	8.3	5.0	▲ 3.3	16.0	11.0
規模	大企業	16.1	12.3	▲ 3.8	17.5	5.2
	中堅企業	2.2	▲ 16.6	▲ 18.8	2.3	18.9
	中小企業	12.7	11.1	▲ 1.6	7.4	▲ 3.7

注) 2018年10~3月(今期)の変化幅は2018年4~9月(前期)との対比、2019年4~9月(見通し)の変化幅は2018年10~3月(今期)との対比。

図表8. 経営上の課題 (3つまで回答)

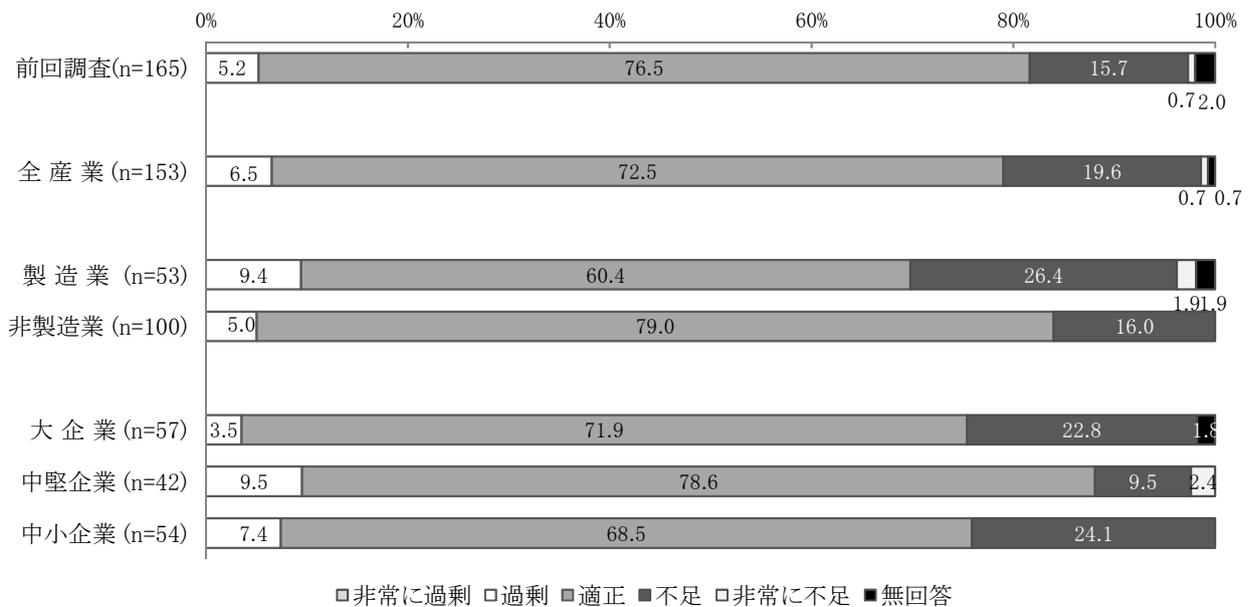


### Ⅲ. 設備投資

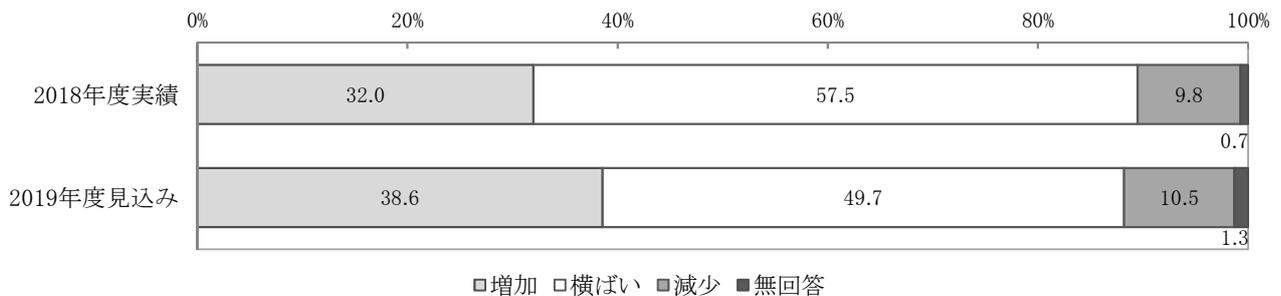
#### 現状の設備水準は適正とする企業が多数で、2019年度の設備投資見通しは引き続き増加傾向

- ・ 現在の設備水準については、「適正である」と答えた企業が72.5%で、前回調査(76.5%)同様、大半を占めた。また、「不足」「非常に不足」とする企業(20.3%)が「非常に過剰」「過剰」とする企業(6.5%)を上回った。(図表9)
- ・ 設備投資の前年対比については、2018年度は「増加した」と答えた企業(32.0%)が「減少した」と答えた企業(9.8%)を上回った。2019年度の見込みについても、「増加する」と答えた企業(38.6%)が「減少する」と答えた企業(10.5%)を上回り、引き続き設備投資は増加傾向にある。(図表10)
- ・ 2019年度の設備投資が増加するとした理由を尋ねたところ、「設備の維持・更新が必要」(81.4%)が最も多く、「情報技術(IT)投資が必要」(28.8%)、「新規事業への進出」(15.3%)「国内需要が増加する見通し」(11.9%)、が続いている。(図表11)
- ・ 一方、2019年度の設備投資が減少するとした理由は、「前年度が高水準(反動減)」が81.3%と大半を占めた。(図表12)

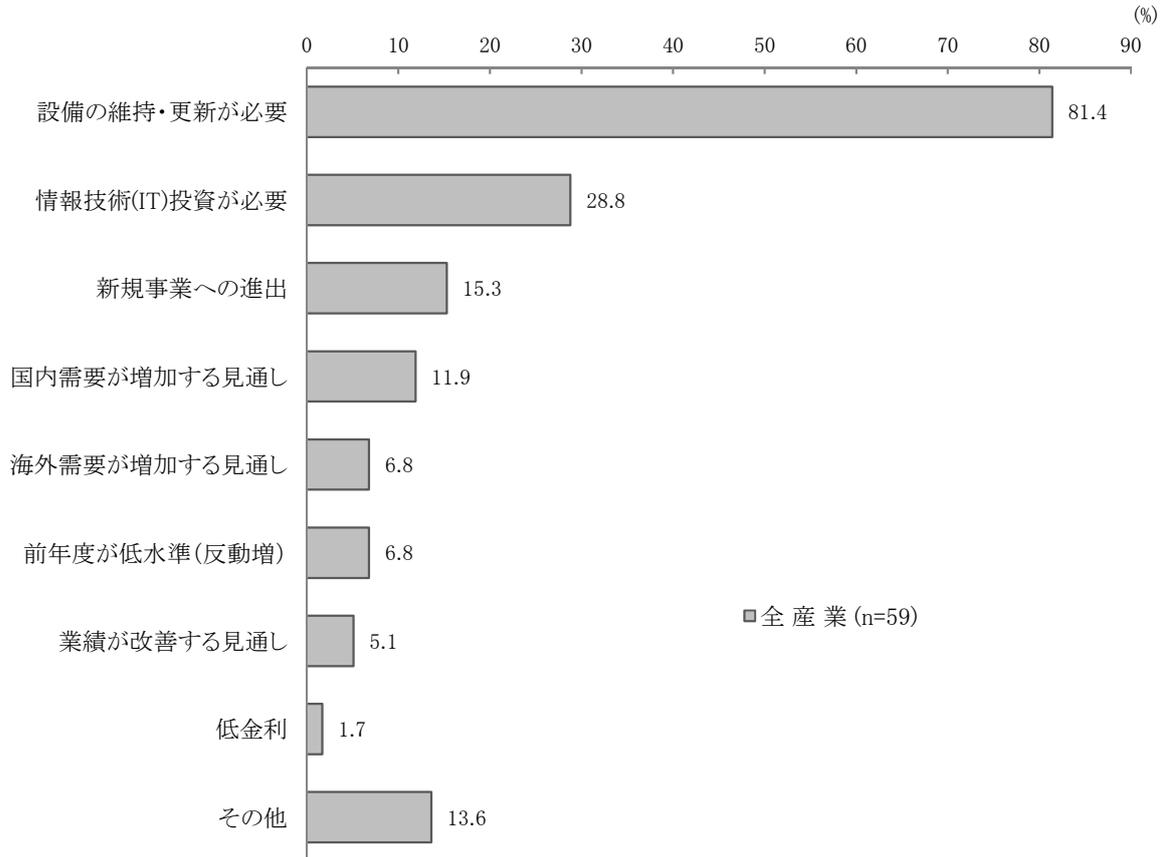
図表9. 現在の設備水準



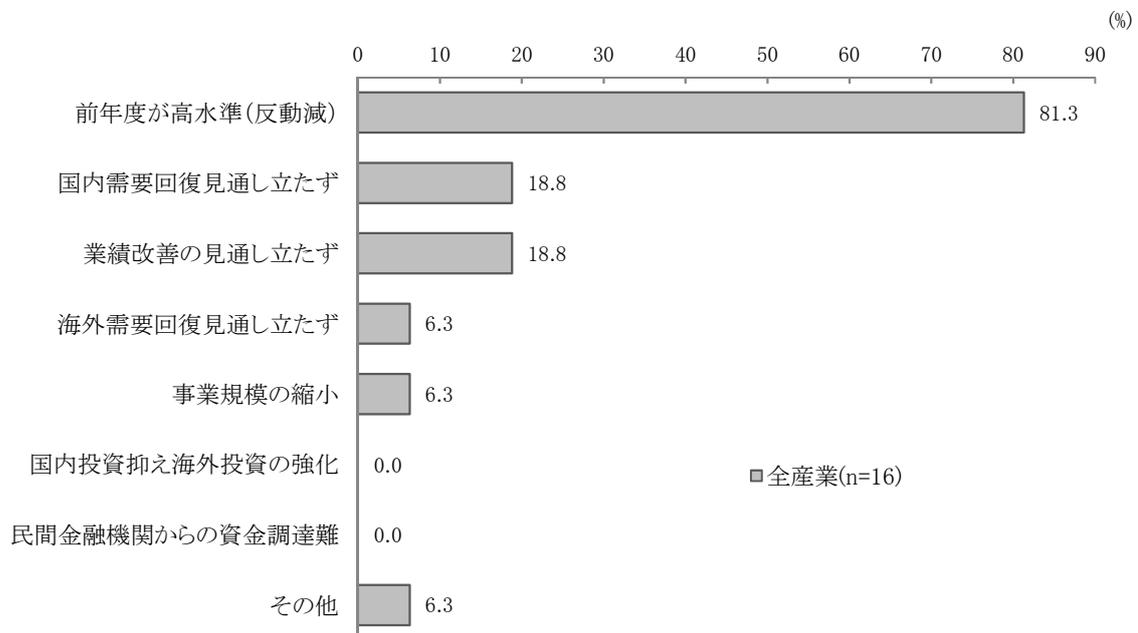
図表10. 設備投資（前年度比）



図表11. 2019年度の設備投資が増加する要因（3つまで回答）



図表12. 2019年度の設備投資が減少する要因（3つまで回答）

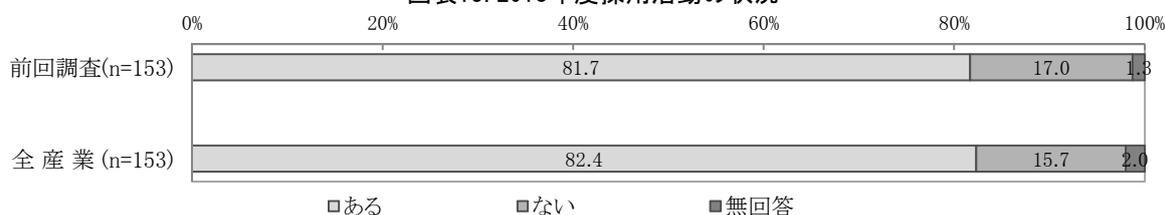


## IV. その他

### 1. 採用活動について

- ・ 2018年度採用活動（2019年4月新卒者等）では82.4%の企業が採用を行っており、採用者の構成としては製造業では高校卒、非製造業では学部卒が多く採用されている。（図表13.14）
- ・ 採用活動の充足率については、全産業で55.8%（前回調査61.8%）の企業が90%以上と答えており、前回調査より減少している。規模別に見ると大企業（75.7%）に比べ、中堅企業（47.2%）、中小企業（45.0%）と低下する。（図表15）
- ・ 採用予定における北陸地域出身者比率については、全産業では46.2%（前回調査47.1%）の企業が90%以上と答えており、規模別に見ると中小企業（76.2%）、中堅企業（54.5%）に比べ、大企業では21.6%と低下する。（図表16）  
北陸地域大学出身者比率についても同様の傾向が見られ、90%以上と答えた企業は全産業では19.8%（前回調査26.1%）で前回調査より減少している。（図表17）

図表13. 2018年度採用活動の状況



図表14. 採用者の構成及び人数

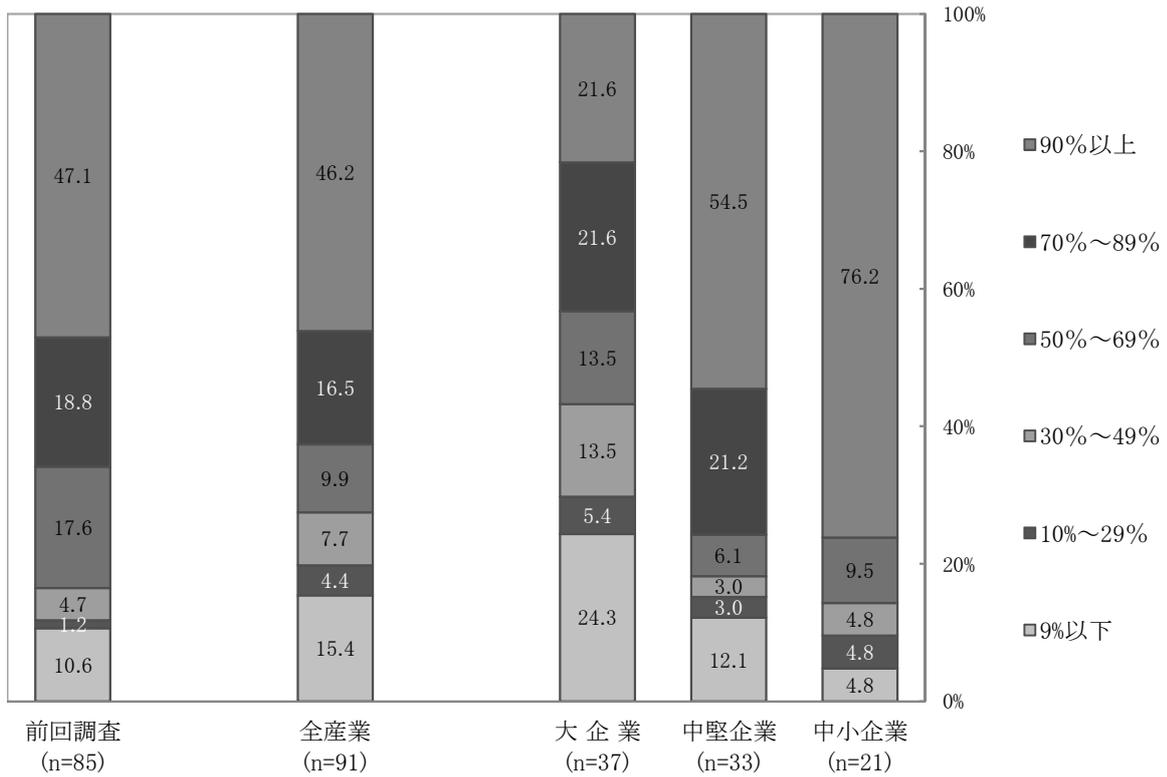


図表15. 充足率

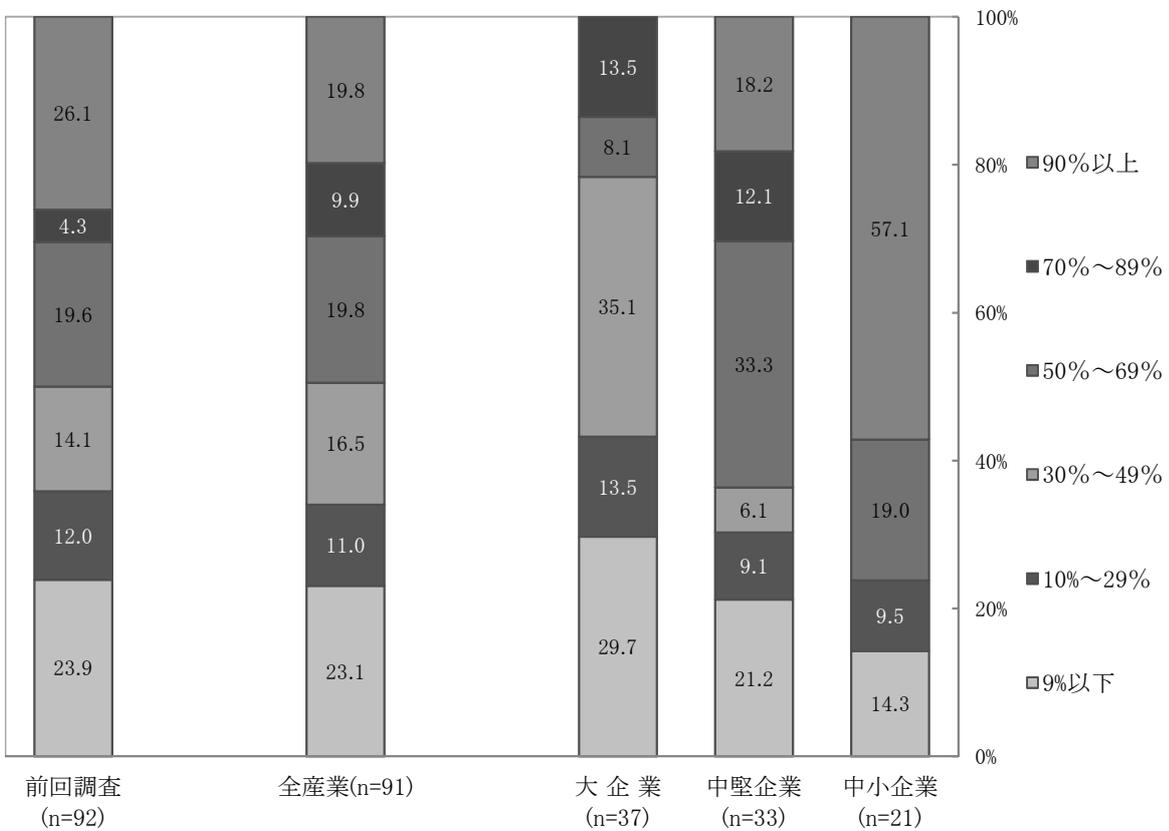
	9%以下	10%台	20%台	30%台	40%台	50%台	60%台	70%台	80%台	90%超
前回調査(n=110)	10.9	0.0	0.9	1.8	1.8	2.7	6.4	4.6	9.1	61.8
全産業(n=113)	5.3	0.0	1.8	3.5	1.8	8.8	6.2	8.8	8.0	55.8
製造業(n=41)	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	9.8	4.9	9.8	12.2	58.5
非製造業(n=72)	5.6	0.0	2.8	5.6	2.8	8.3	6.9	8.3	5.6	54.2
大企業(n=37)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	2.7	5.4	10.8	75.7
中堅企業(n=36)	5.6	0.0	0.0	8.3	0.0	5.6	2.8	19.4	11.1	47.2
中小企業(n=40)	10.0	0.0	5.0	2.5	5.0	15.0	12.5	2.5	2.5	45.0

単位: %

図表16. 北陸出身者比率



図表17. 北陸地域大学出身者比率

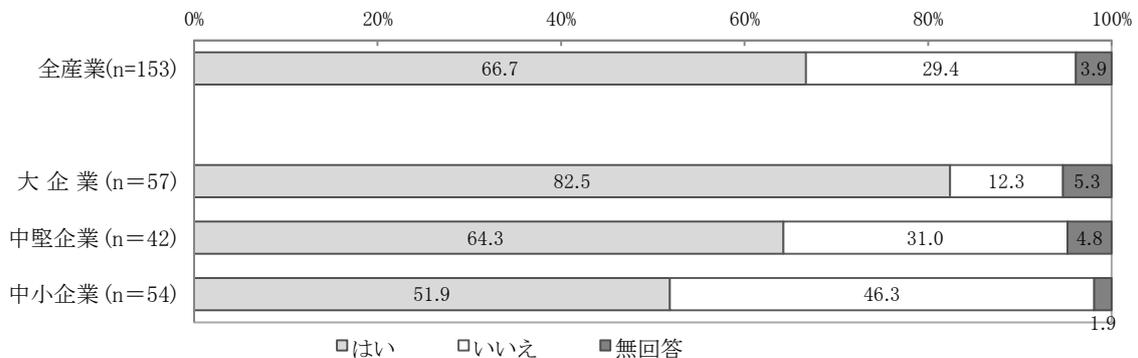


## IV. その他

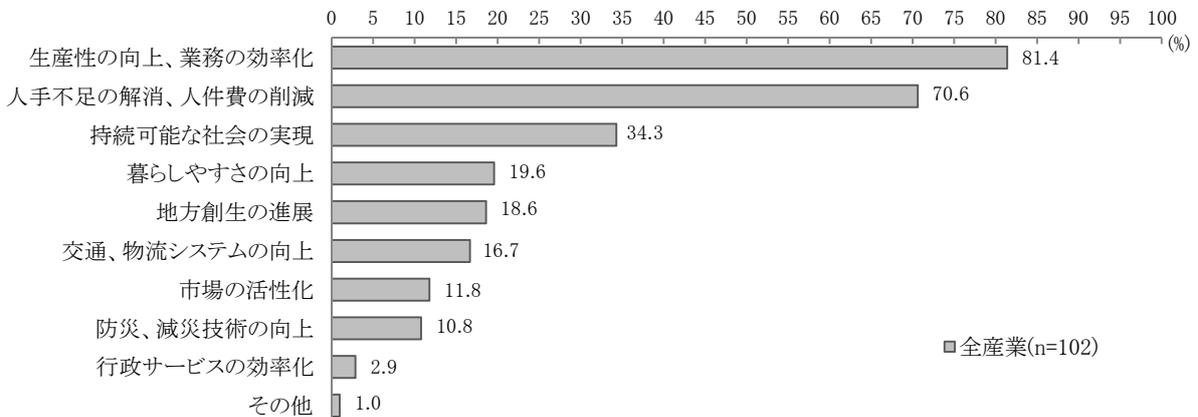
### 2. Society5.0実現にむけての取組み状況について

- Society5.0に対して、全産業では66.7%が前向きに捉えており、29.4%が前向きに捉えていない。規模別で見ると、Society5.0に対して前向きに捉えている割合は大企業(82.5%)が最も多く、中堅企業(64.3%)、中小企業(51.9%)と続き、大企業の方が前向きに捉えている傾向にある。(図表18)
- Society5.0を前向きに捉えている理由としては、「生産性の向上、業務の効率化」(81.4%)が最も多く、続いて「人手不足の解消、人件費の削減」(70.6%)、「持続可能な社会の実現」(34.3%)となっている。(図表19)
- Society5.0を前向きに捉えていない理由としては、「設備投資額の増加」(46.7%)が最も多く、続いて「情報セキュリティリスクへの不安」(35.6%)、「災害時リスクへの不安」(13.3%)となっている。(図表20)
- Society5.0の実現に向けて必要だと思うことは、「専門人材の育成」(61.4%)が最も多く、続いて「技術開発への人的支援」(36.6%)、「技術開発への資金的支援」(34.6%)となっている。(図表21)
- IoT(モノのインターネット)の導入状況は、全産業で28.1%が導入済で、業種別では製造業(35.8%)の方が、非製造業(24.0%)よりも導入が進んでいる。AI(人工知能)の導入状況は、全産業で11.1%が導入済で、業種別では非製造業(13.0%)の方が、製造業(7.5%)よりも導入が進んでいる。IoT、AIとも大企業の導入が進んでいる傾向にある。(図表22, 23)

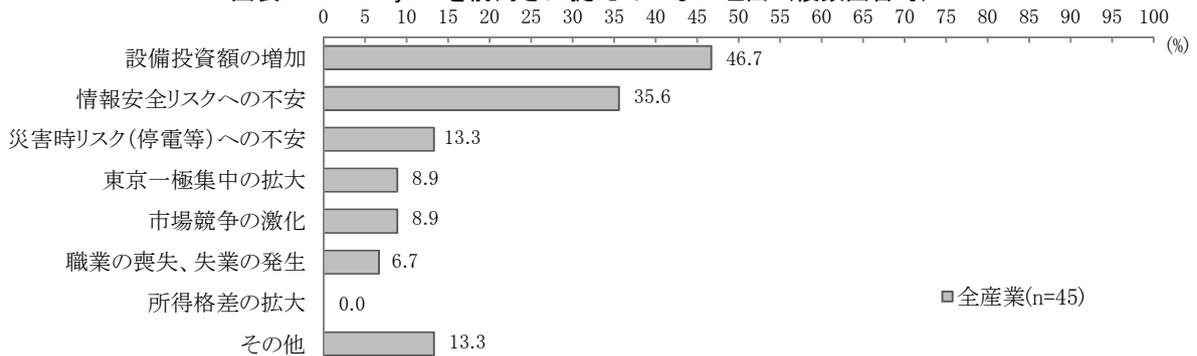
図表18. Society5.0を前向きに捉えているか



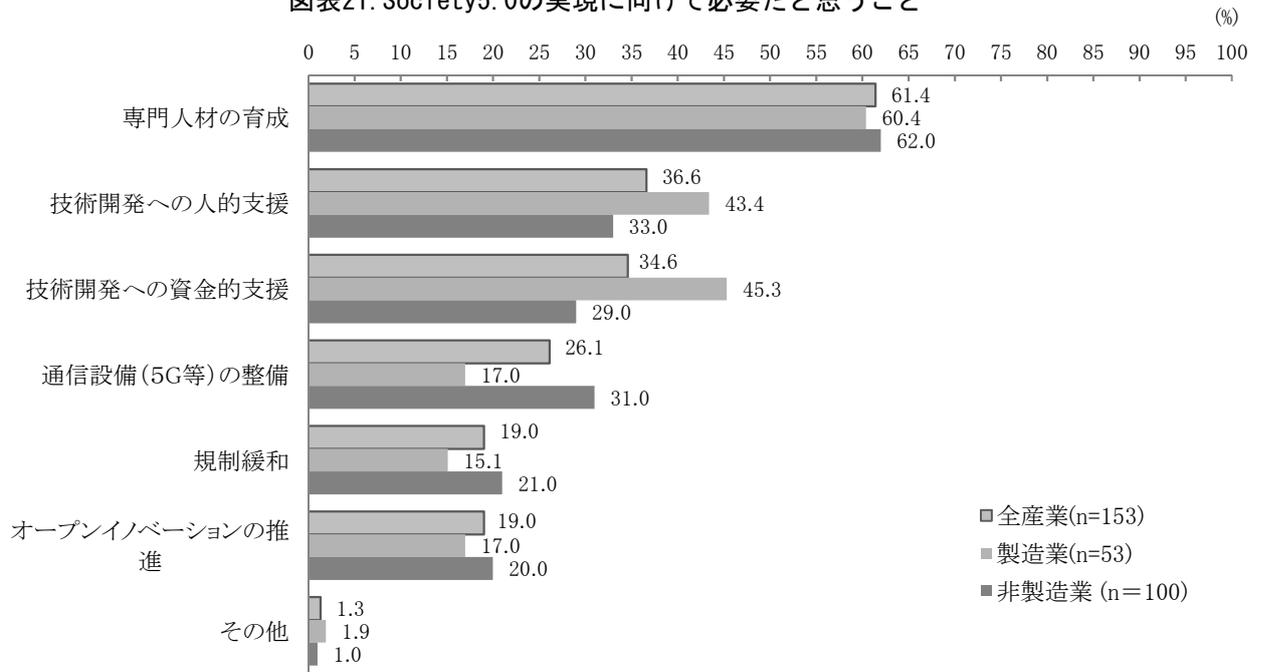
図表19. Society5.0を前向きに捉えている理由 (複数回答可)



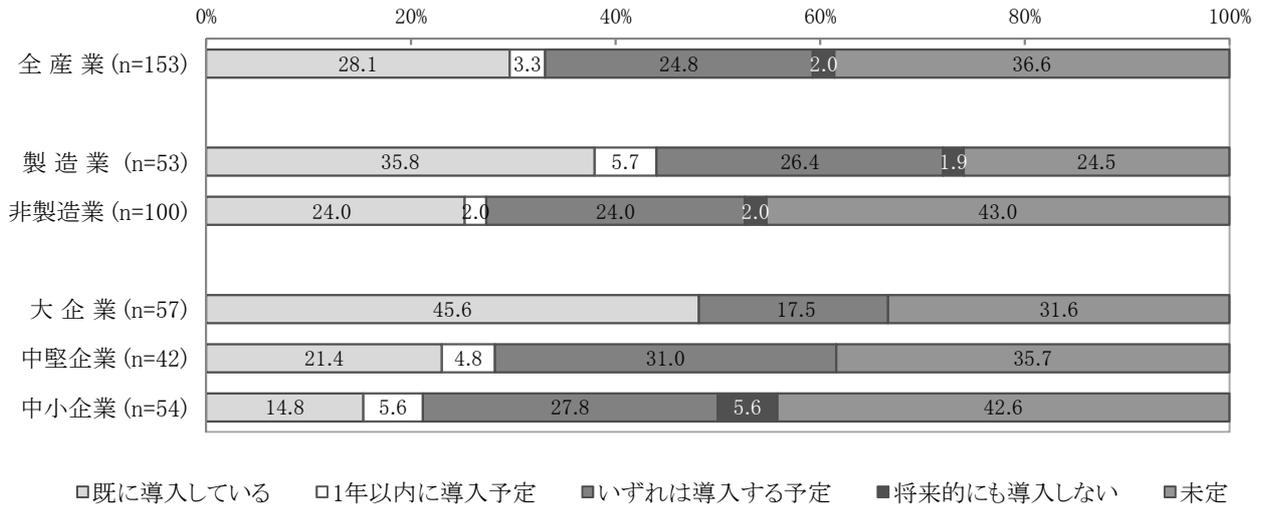
図表20. Society5.0を前向きに捉えていない理由 (複数回答可)



図表21. Society5.0の実現に向けて必要だと思うこと

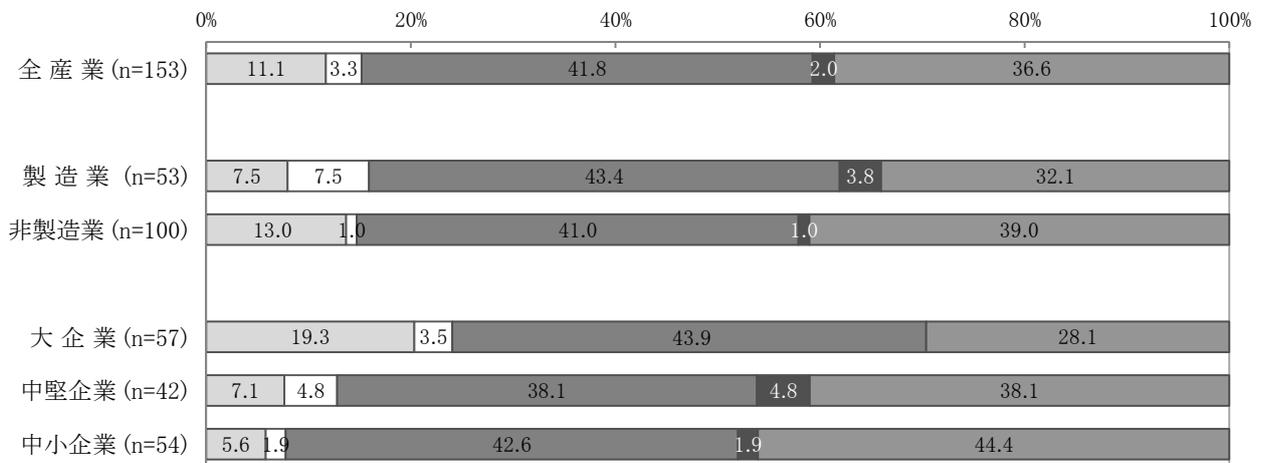


図表22. IoT（モノのインターネット）の導入状況



□既に導入している □1年以内に導入予定 ■いずれは導入する予定 ■将来的にも導入しない ■未定

図表23. AI（人工知能）の導入状況



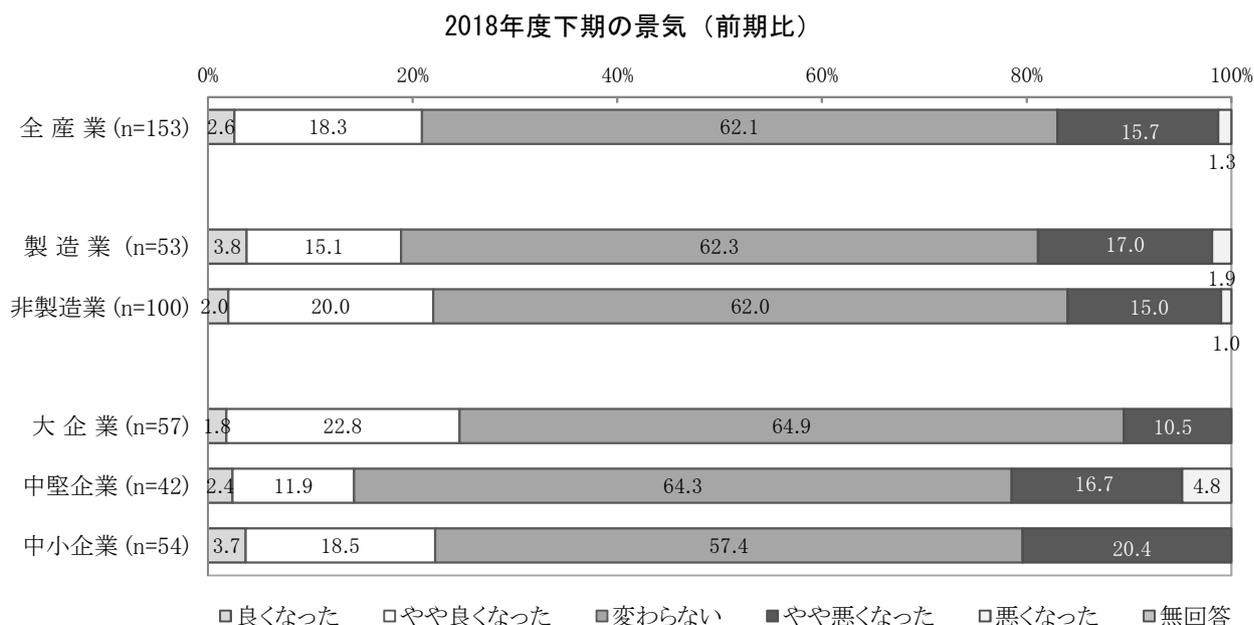
□既に導入している □1年以内に導入予定 ■いずれは導入する予定 ■将来的にも導入しない ■未定

## 参考(アンケート調査結果)

### I 景気動向

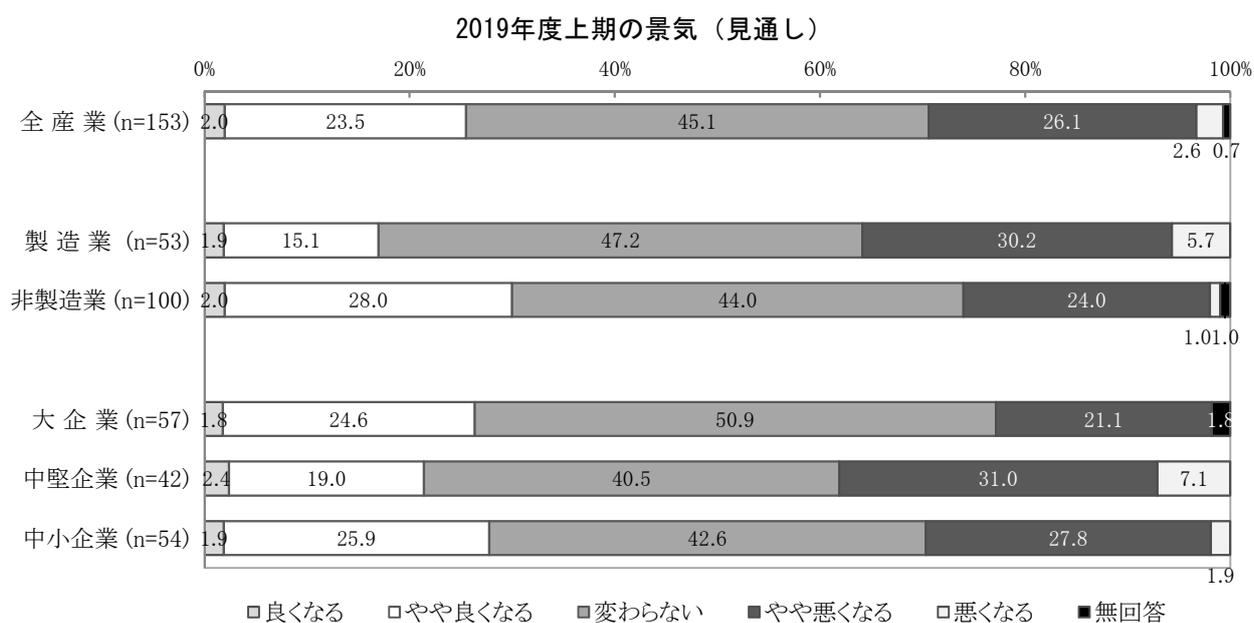
#### Q.1

北陸地域の2018年度下期(10月～3月)の景気は2018年度上期(4月～9月)に比べてどのように変化したと思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



#### Q.2

北陸地域の2019年度上期(4月～9月)の景気は2018年度下期(10月～3月)に比べてどのように変化すると思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)

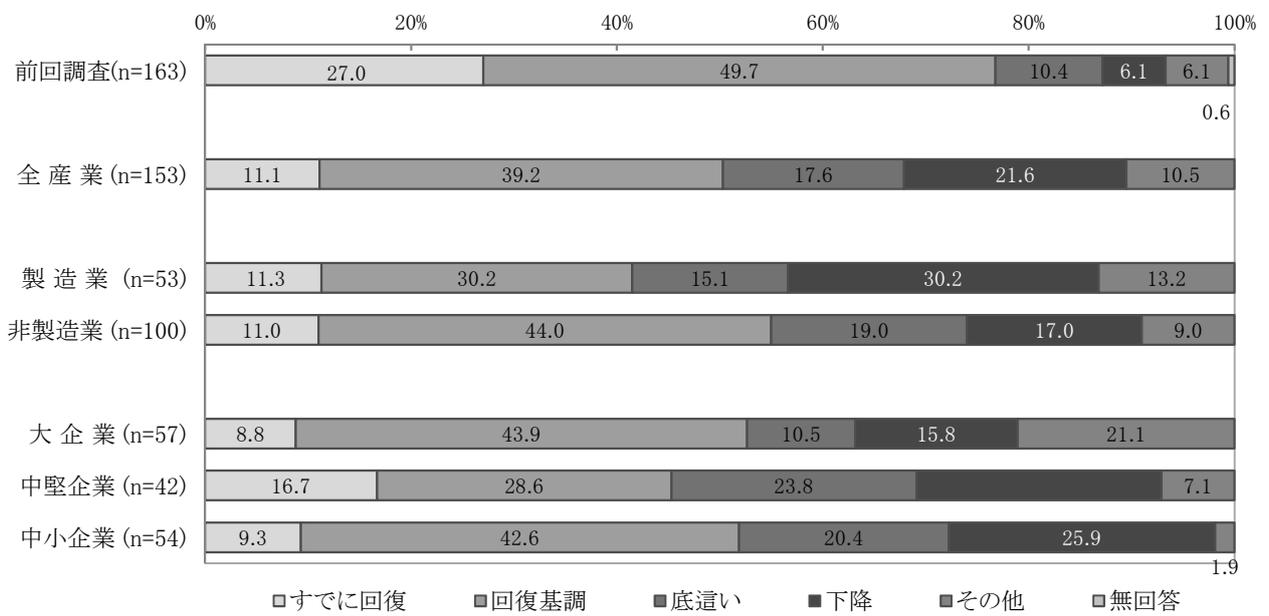


# I 景気動向

## Q.3

2018年度下期(10月～3月)の北陸地域の景気は基調として以下のどの局面にあると判断されていますか。

2018年度下期の景気基調

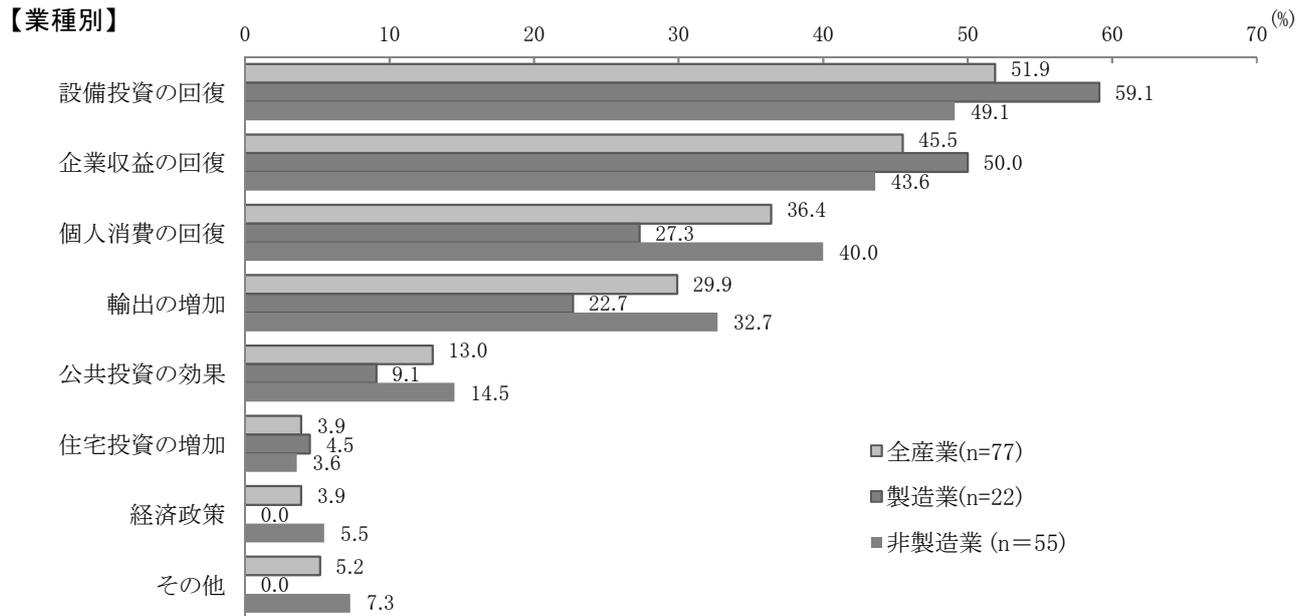


◎その他の具体的な回答  
・横這い

## Q.4

Q.3で「すでに回復」「回復基調」と回答された方へ  
2018年度下期(10月～3月)の景気が良いのは何によるものだと思いますか。(複数回答可)

2018年度下期の景気が良い理由(複数回答)



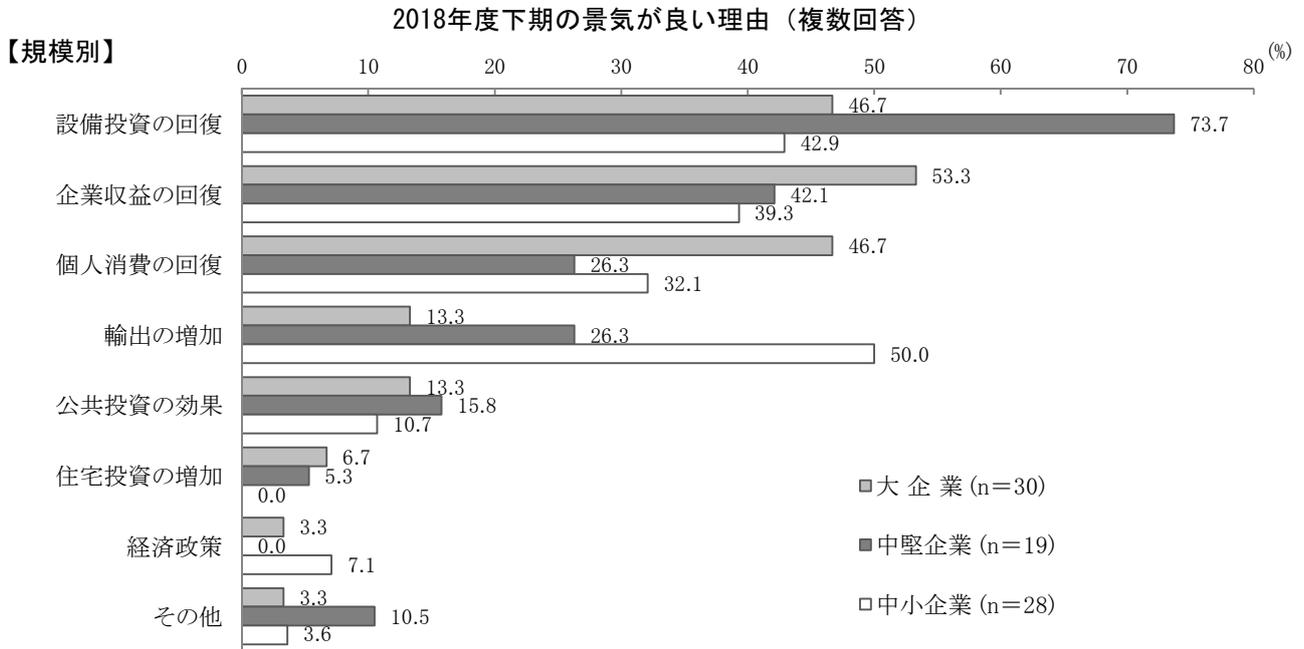
◎経済政策の具体的な回答  
・低金利  
・新幹線効果

◎その他の具体的な回答  
・消費税増税前の駆け込み需要  
・インバウンド  
・北陸新幹線効果

# I 景気動向

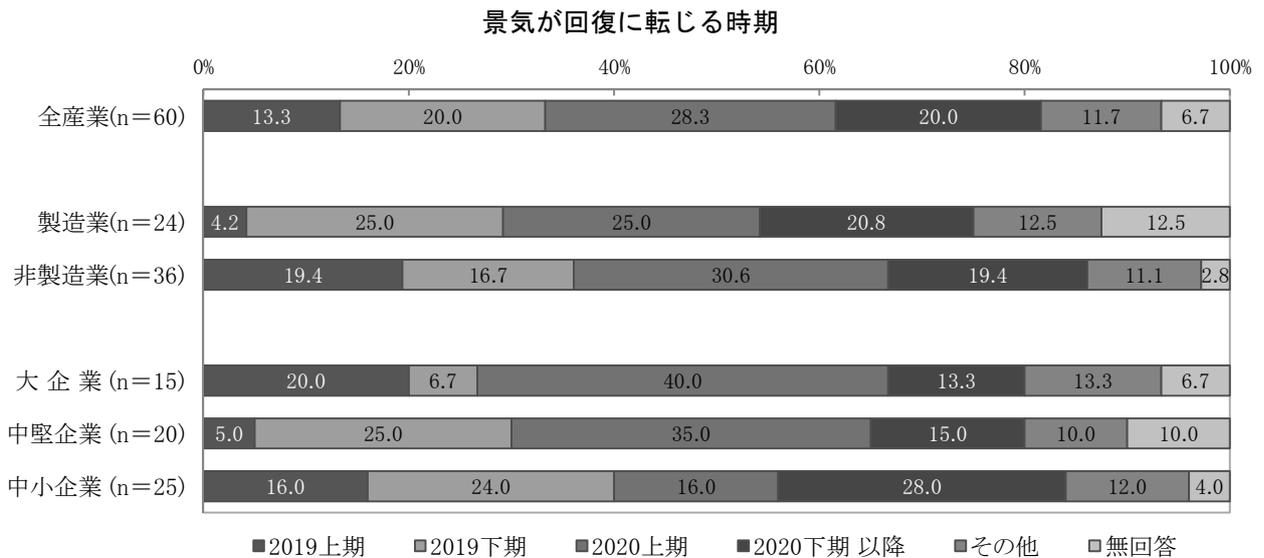
## Q.4

Q.3で「すでに回復」「回復基調」と回答された方へ  
 2018年度下期(10月～3月)の景気が良いのは何によるものだと思いますか。(複数回答可)



## Q.5

Q.3で「底這い」「下降」と回答された方へ  
 北陸地域の景気が今後回復に転じると予想される時期はいつ頃と思われますか。

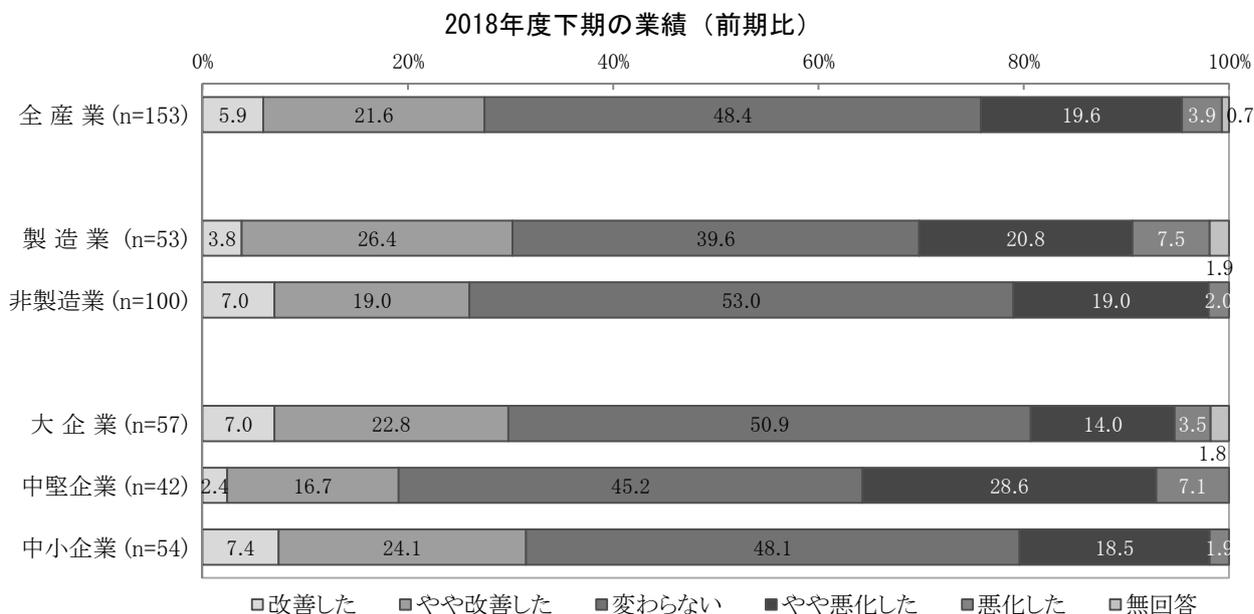


◎その他の具体的な回答  
 ・米中貿易摩擦の解消後  
 ・不透明

## II 業績

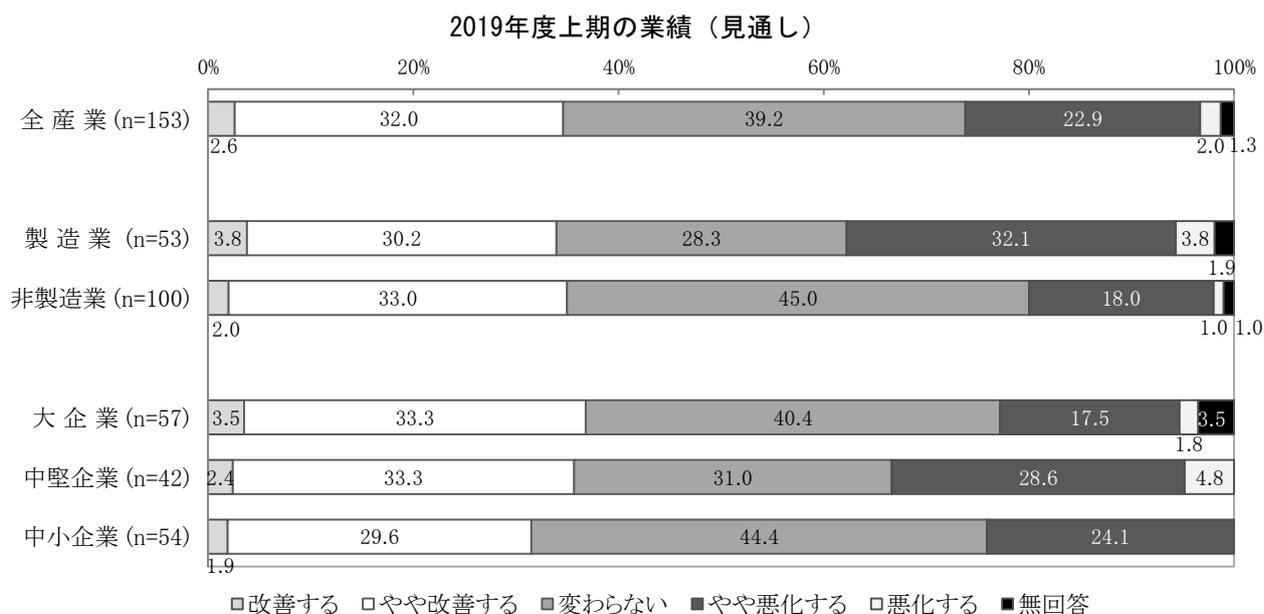
### Q.1

貴社の2018年度下期(10月～3月)の業績は、2018年度上期(4月～9月)に比べてどのように変化しましたか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



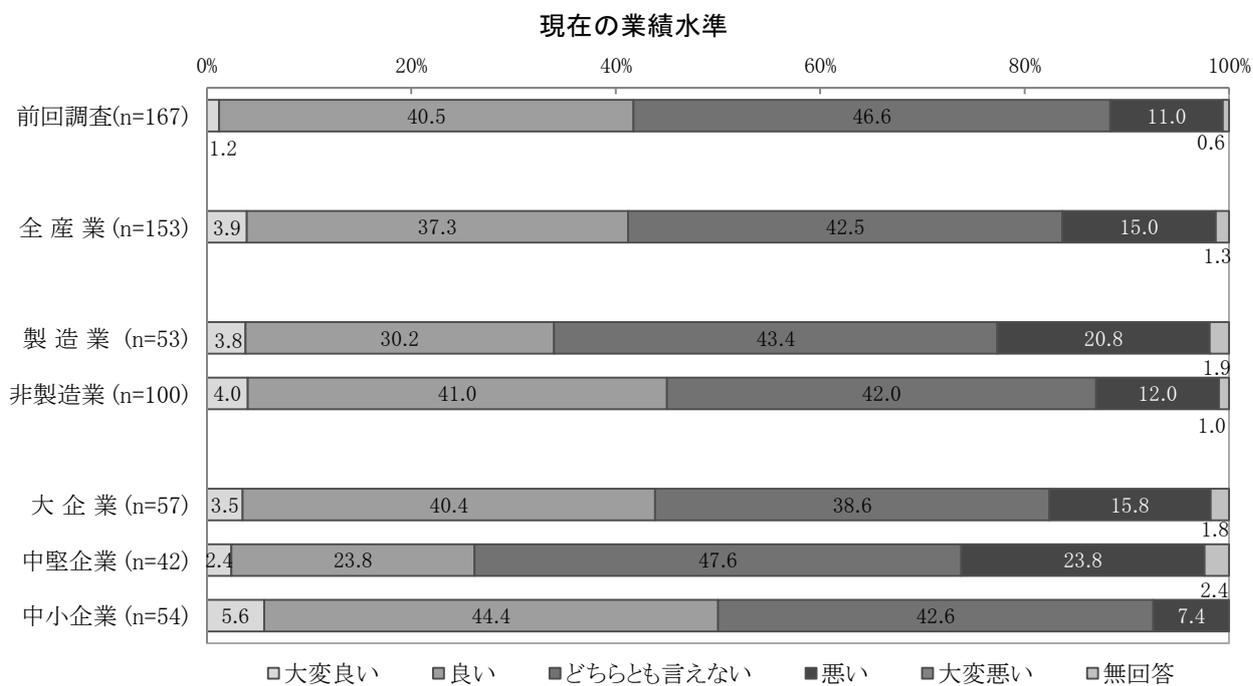
### Q.2

貴社の2019年度上期(4月～9月)の業績は、2018年度下期(10月～3月)に比べてどのように変化すると思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



Q.3

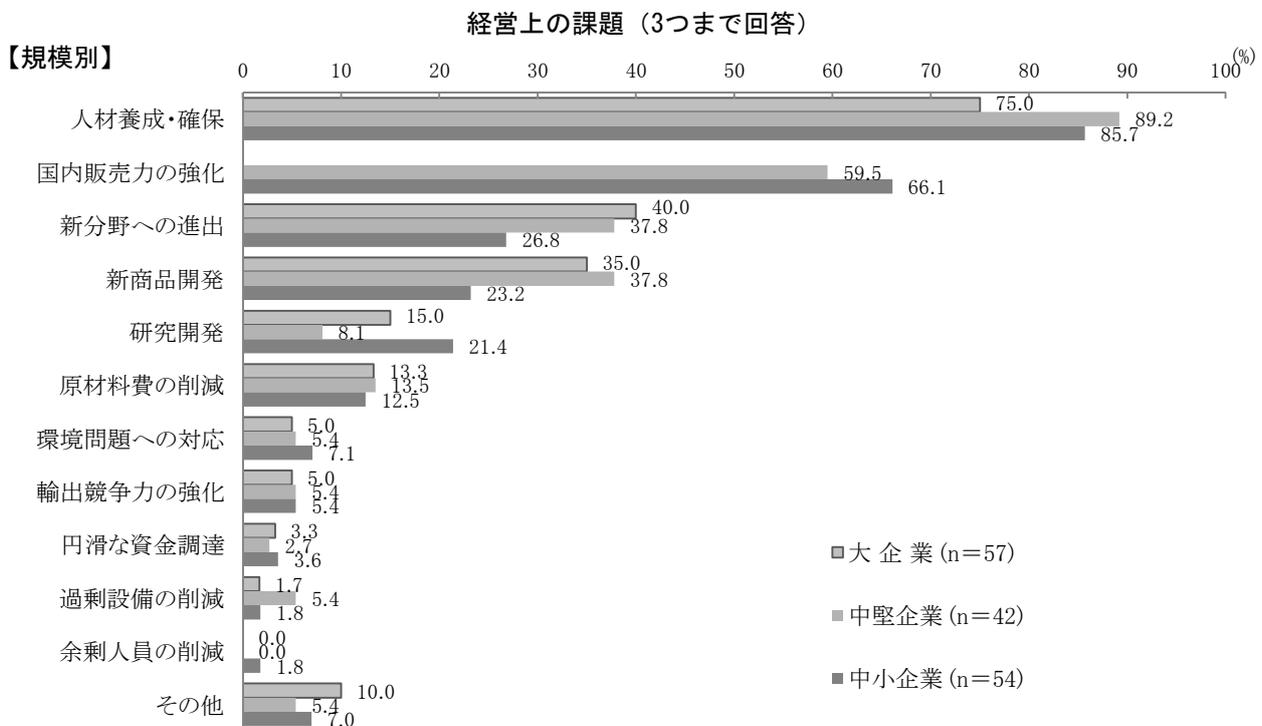
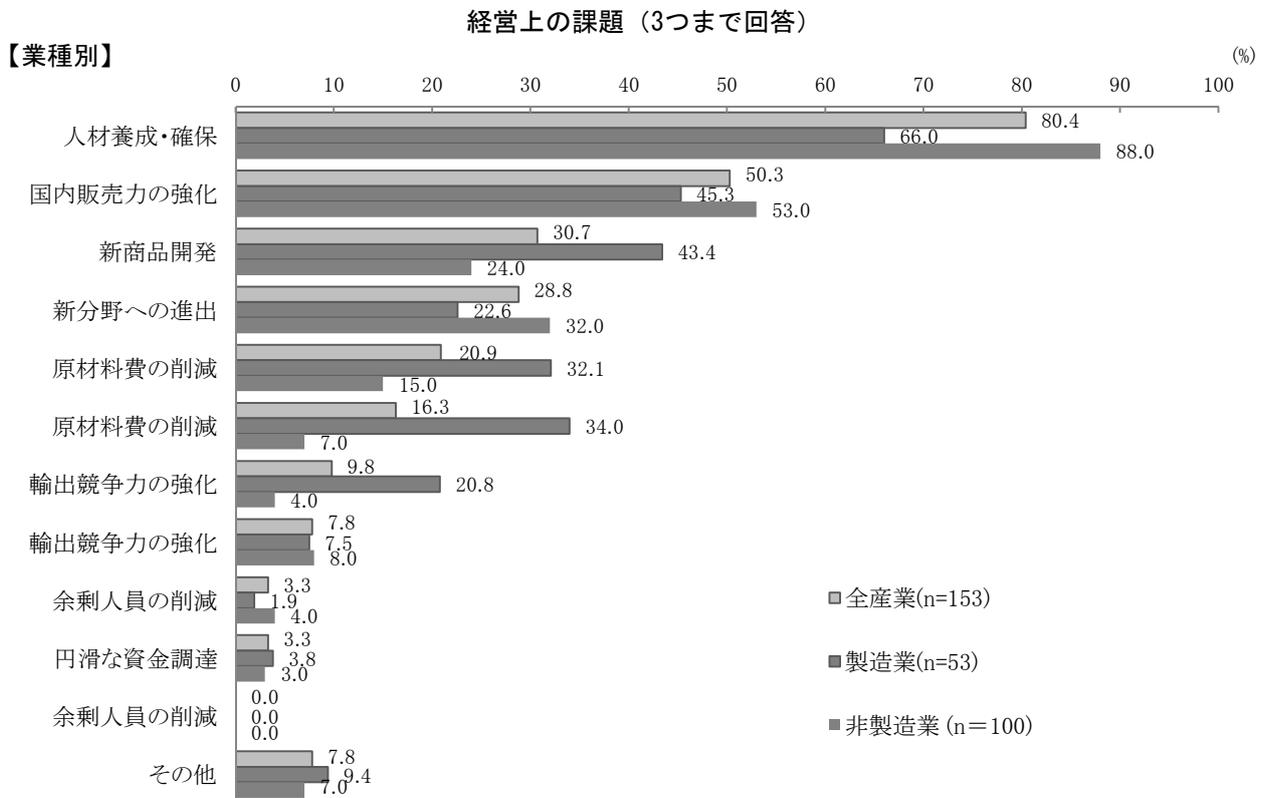
現在の貴社の業績水準についてどう思われますか。



## II 業績

### Q.4

貴社にとっての経営上の課題は、どのような点でしょうか。(3つまで回答可)



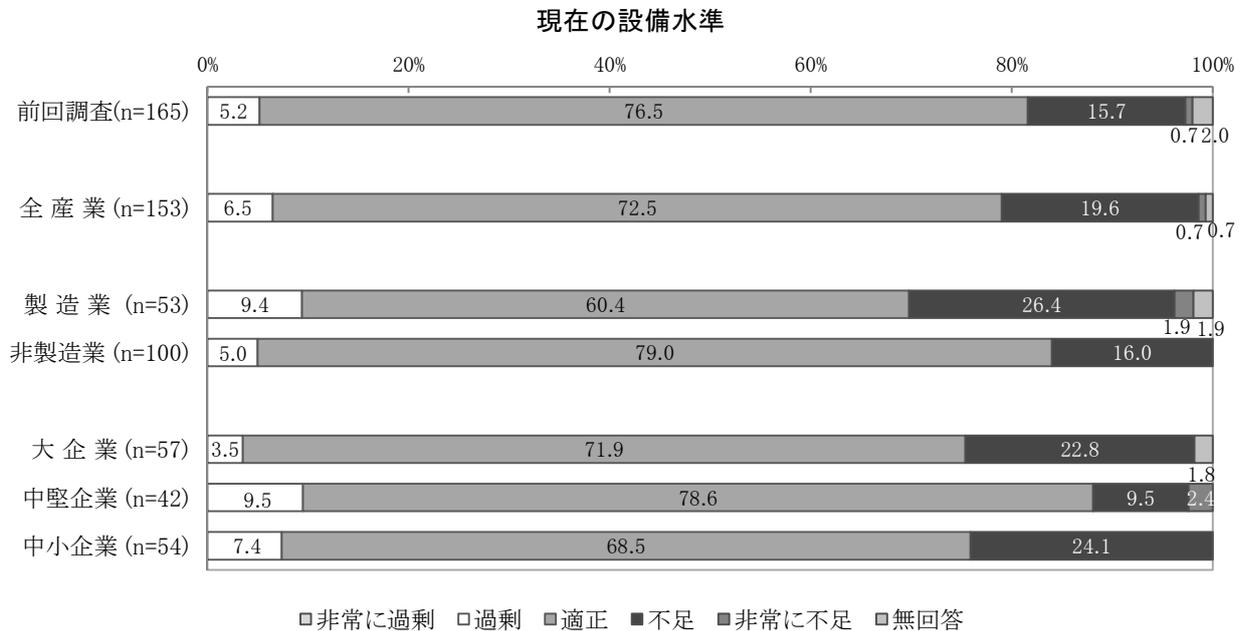
◎その他の具体的な回答

- 働き方改革への対応
- 設備投資の推進
- 運送費・人件費の高騰
- 生産性の向上
- BCPへの対応

### III 設備投資

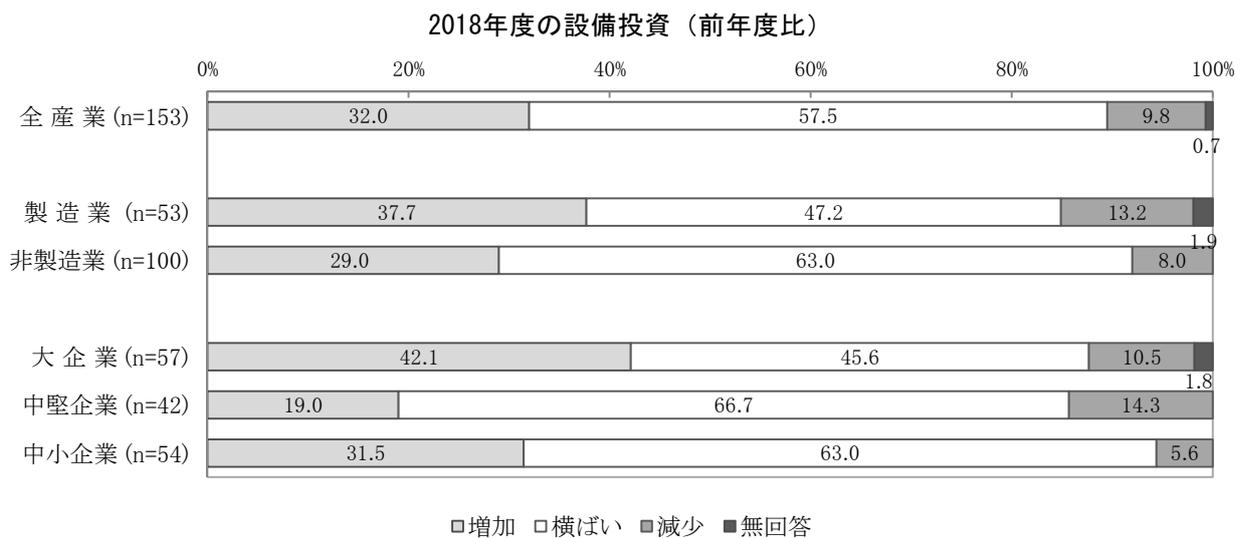
#### Q.1

貴社の現在の設備水準はどうですか。



#### Q.2

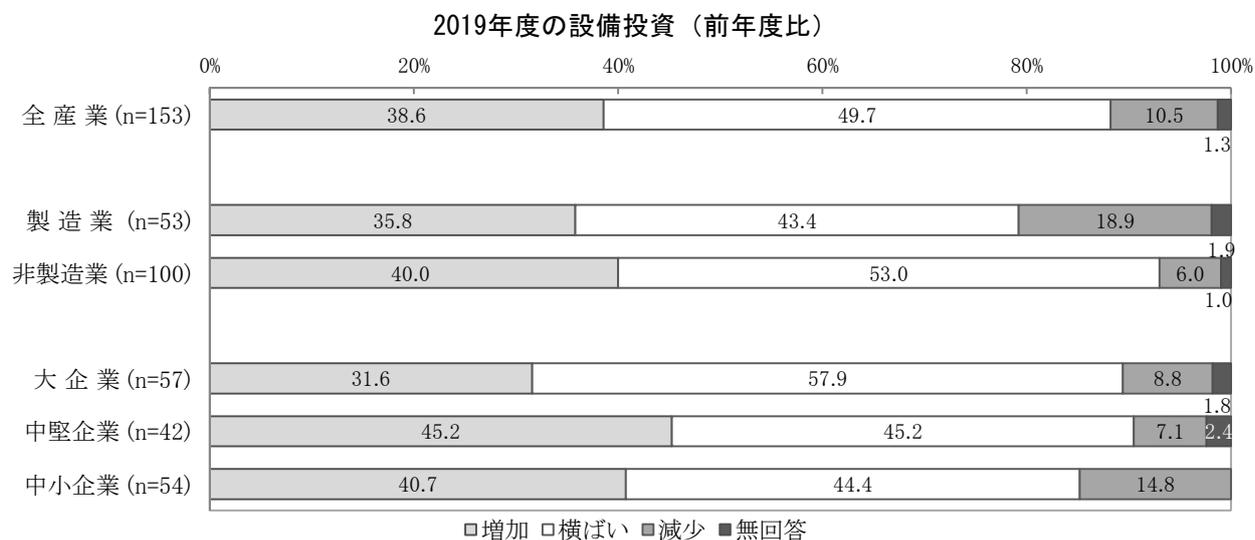
貴社の2018年度の設備投資は2017年度に比べ、増加しましたか、減少しましたか。



### III 設備投資

#### Q.3

貴社の2019年度の設備投資は2018年度に比べ、増加する見込みですか、減少する見込みですか。

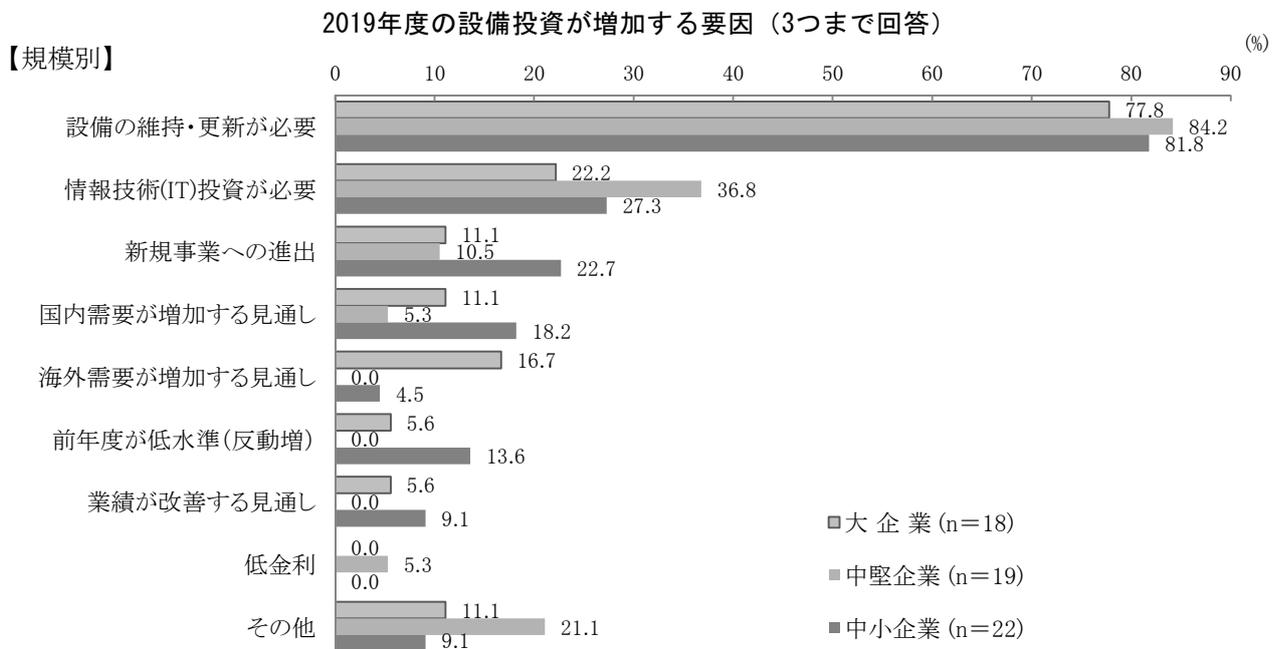
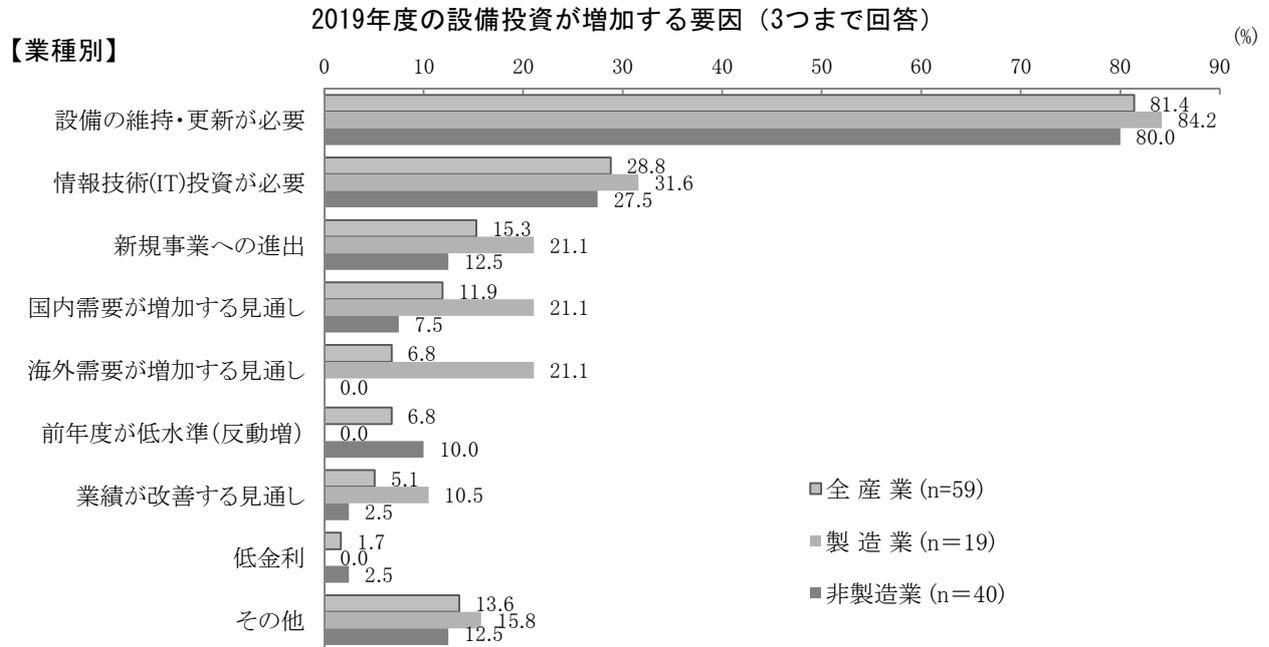


### III 設備投資

#### Q.4

Q.3で「増加する」と回答された方へ

2019年度の設備投資が、2018年度と比較して増加する要因をお答えください。(3つまで回答可)



◎その他の具体的な回答

- ・ 人手不足対応
- ・ 新本部の竣工

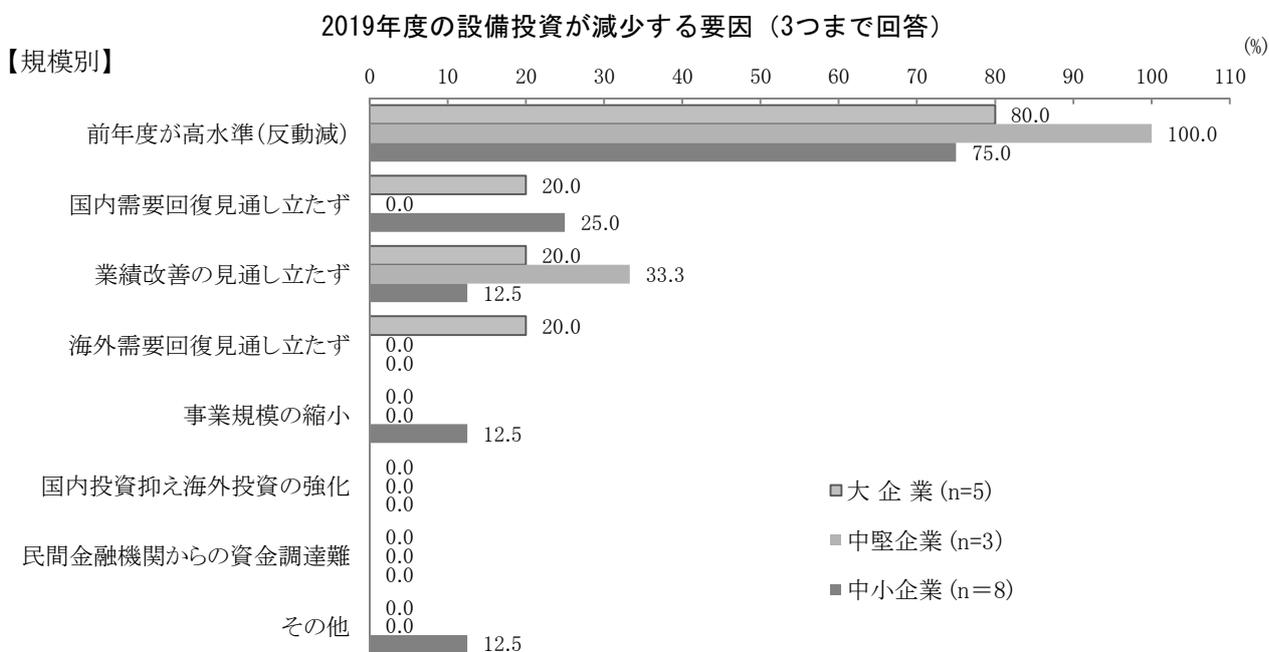
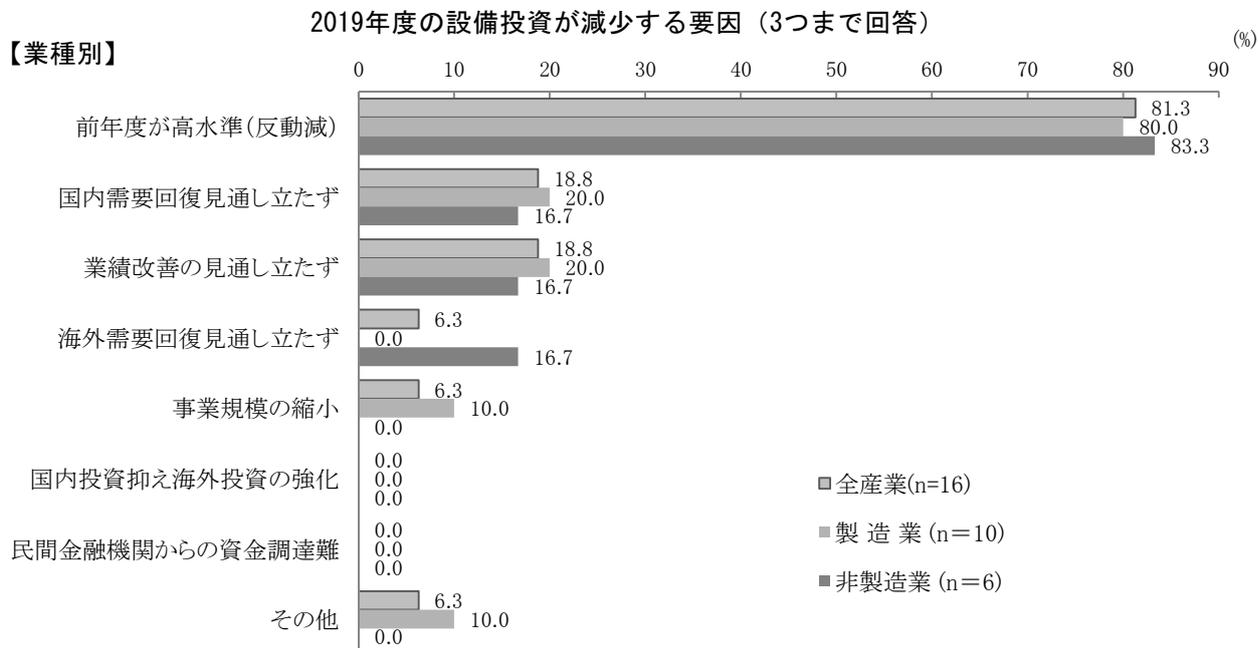
- ・ 生産性向上
- ・ エリア戦略の強化
- ・ 特定サービス基盤の更新

### III 設備投資

#### Q.5

Q.3で「減少する」と回答された方へ

2019年度の設備投資が、2018年度と比較して減少する要因をお答えください。(3つまで回答可)



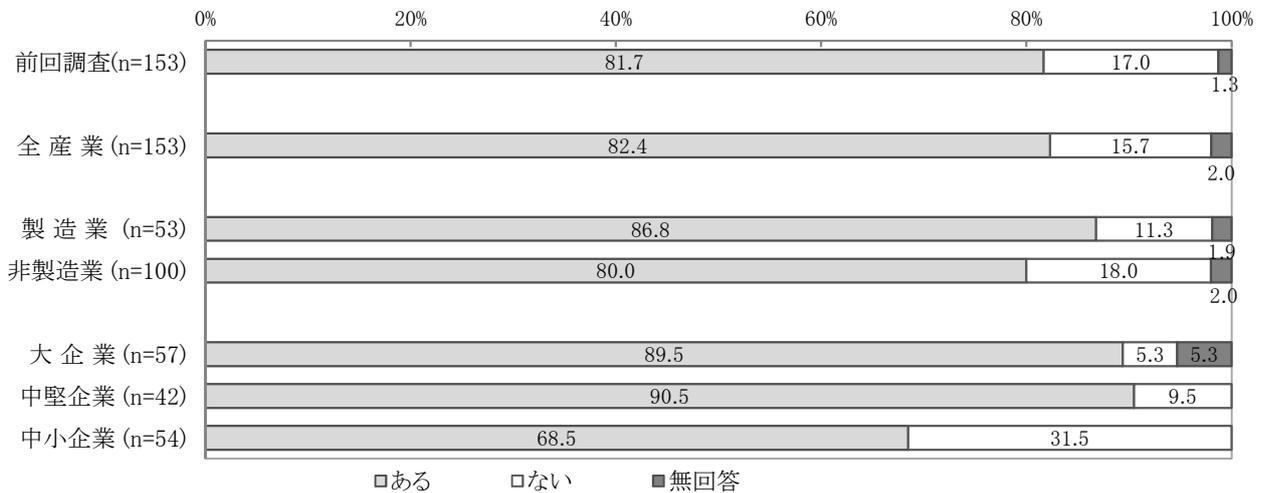
## IV その他

1. 貴社の採用活動に関してお聞きます。

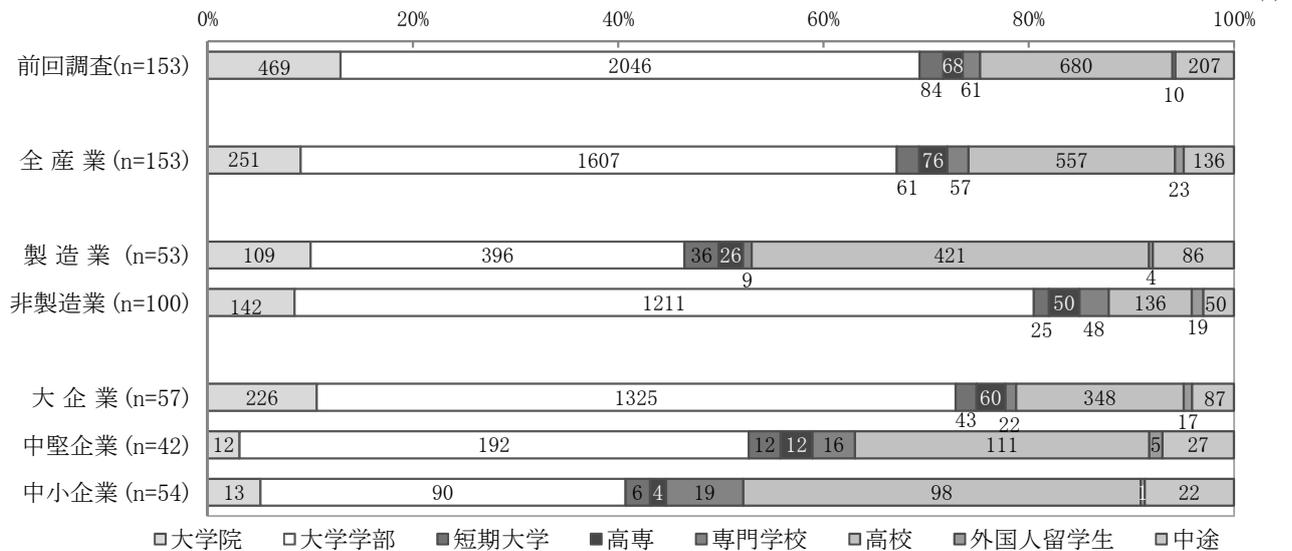
### Q.1

2018年度（2019年4月新卒者等）の採用はございましたか。またその構成及び人数をお聞かせください。

2018年度の採用



採用者の構成及び人数



(注) グラフ内数字は採用実数(人)

採用予定人数

単位:人

【採用人数】	大学院	大学学部	短期大学	高専	専門学校	高校	外国人留学生	中途	計
全産業	251	1607	61	76	57	557	23	136	2768
製造業	109	396	36	26	9	421	4	86	1087
非製造業	142	1211	25	50	48	136	19	50	1681
大企業	226	1325	43	60	22	348	17	87	2128
中堅企業	12	192	12	12	16	111	5	27	387
中小企業	13	90	6	4	19	98	1	22	253

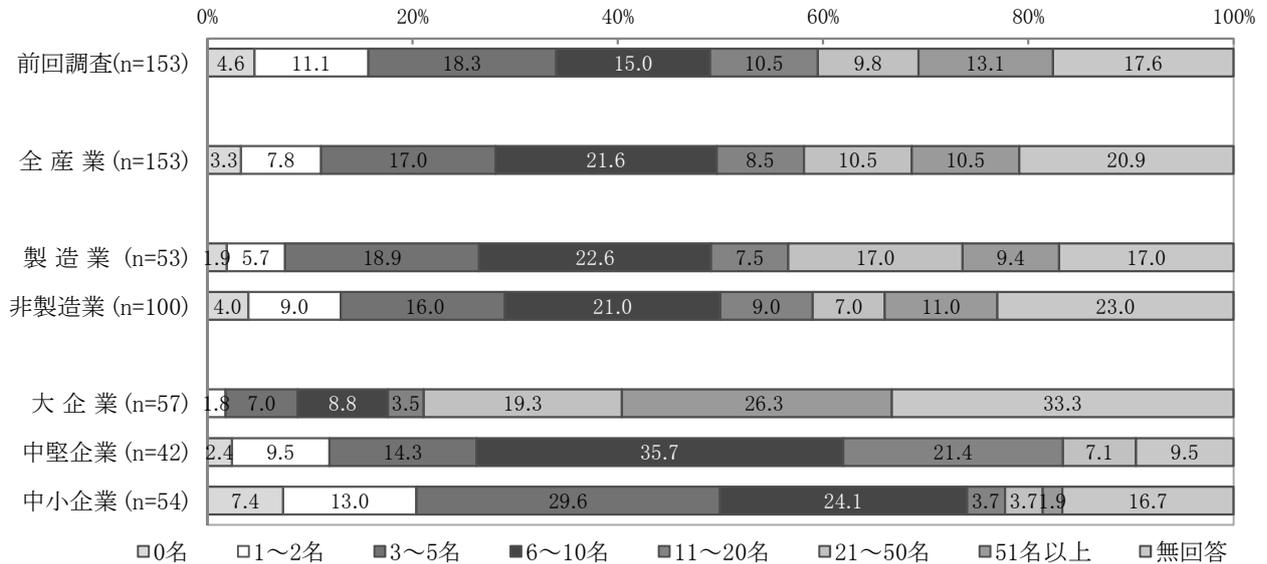
## IV その他

1. 貴社の採用活動に関してお聞きます。

### Q.2

2018年度の採用予定(目標)人数は何名でしたか。また充足率をお聞かせください

2018年度新卒者の採用目標



充足率

	9%以下	10%台	20%台	30%台	40%台	50%台	60%台	70%台	80%台	90%超
前回調査(n=110)	10.9	0.0	0.9	1.8	1.8	2.7	6.4	4.6	9.1	61.8
全産業(n=113)	5.3	0.0	1.8	3.5	1.8	8.8	6.2	8.8	8.0	55.8
製造業(n=41)	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	9.8	4.9	9.8	12.2	58.5
非製造業(n=72)	5.6	0.0	2.8	5.6	2.8	8.3	6.9	8.3	5.6	54.2
大企業(n=37)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	2.7	5.4	10.8	75.7
中堅企業(n=36)	5.6	0.0	0.0	8.3	0.0	5.6	2.8	19.4	11.1	47.2
中小企業(n=40)	10.0	0.0	5.0	2.5	5.0	15.0	12.5	2.5	2.5	45.0

単位: %

## IV その他

1. 貴社の採用活動に関してお聞きます。

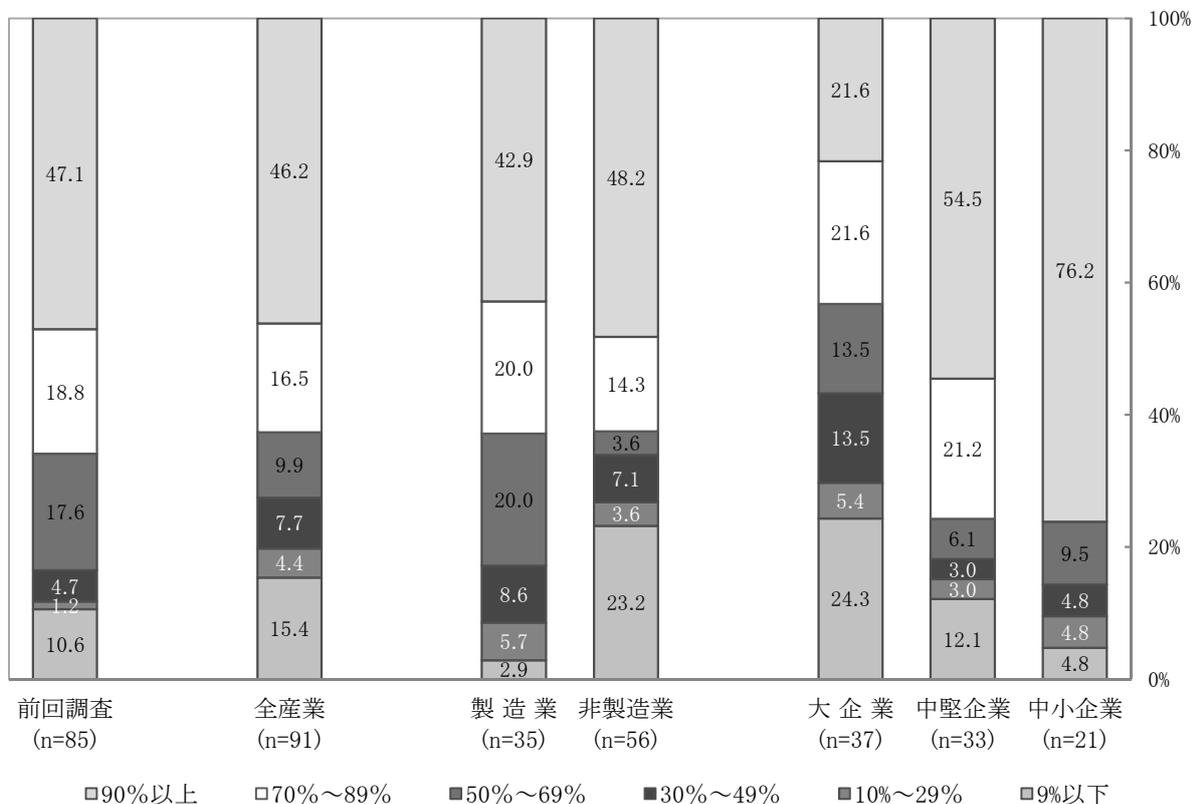
### Q.3

Q1のうち北陸出身者（富山、石川、福井県別）の採用予定人数は何名ですか。

採用予定人数（北陸出身者）

【採用人数】	富山県出身			石川県出身			福井県出身			計		
	大学院	大学学部	計	大学院	大学学部	計	大学院	大学学部	計	大学院	大学学部	計
全産業	53	323	376	37	285	322	21	156	177	111	764	875
製造業	28	92	120	26	102	128	15	50	65	69	244	313
非製造業	25	231	256	11	183	194	6	106	112	42	520	562
大企業	44	239	283	28	169	197	17	124	141	89	532	621
中堅企業	4	43	47	6	84	90	0	22	22	10	149	159
中小企業	5	41	46	3	32	35	4	10	14	12	83	95

北陸出身者比率



## IV その他

1. 貴社の採用活動についてお聞きします。

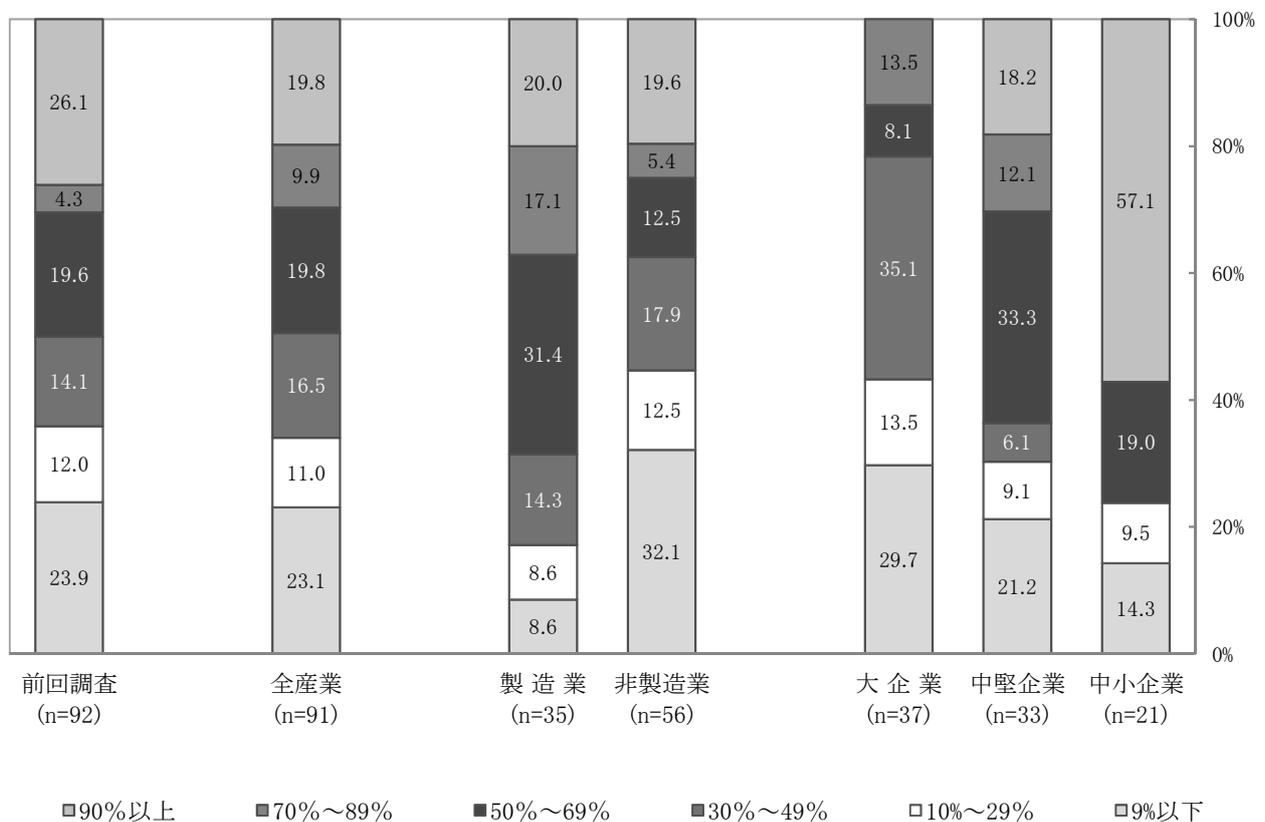
### Q.4

Q1のうち北陸地域大学出身者（富山、石川、福井県別）の採用予定人数は何名ですか。

**採用予定人数（北陸地域大学出身者）**

【採用人数】	富山県内大学			石川県内大学			福井県内大学			計		
	大学院	大学学部	計	大学院	大学学部	計	大学院	大学学部	計	大学院	大学学部	計
全産業	39	166	205	38	218	256	16	57	61	93	441	534
製造業	30	68	98	25	83	108	11	16	22	66	167	233
非製造業	9	98	107	13	135	148	5	41	39	27	274	301
大企業	30	113	143	29	123	152	14	46	41	73	282	355
中堅企業	3	22	25	6	67	73	1	7	10	10	96	106
中小企業	6	31	37	3	28	31	1	4	10	10	63	73

**北陸地域大学出身者比率**



## IV その他

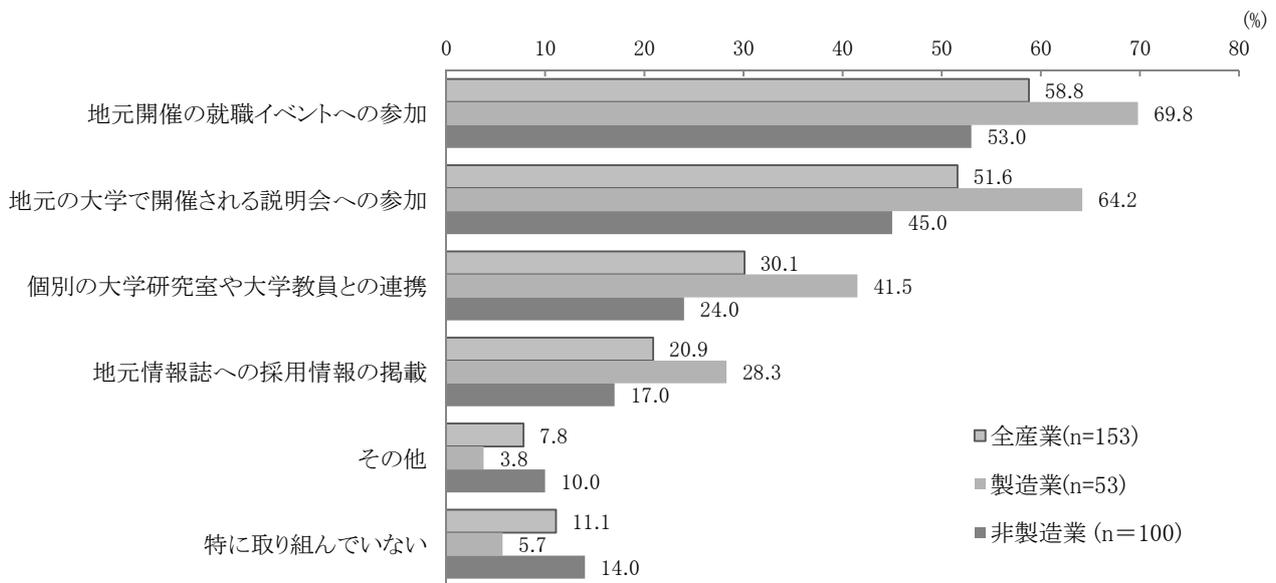
### 1. 貴社の採用活動に関してお聞きます。

#### Q.5

採用選考にあたり、地元(北陸出身者、北陸地域大学出身者)からの採用のために、どのようなことを重視して取り組んでいますか。(複数回答可)

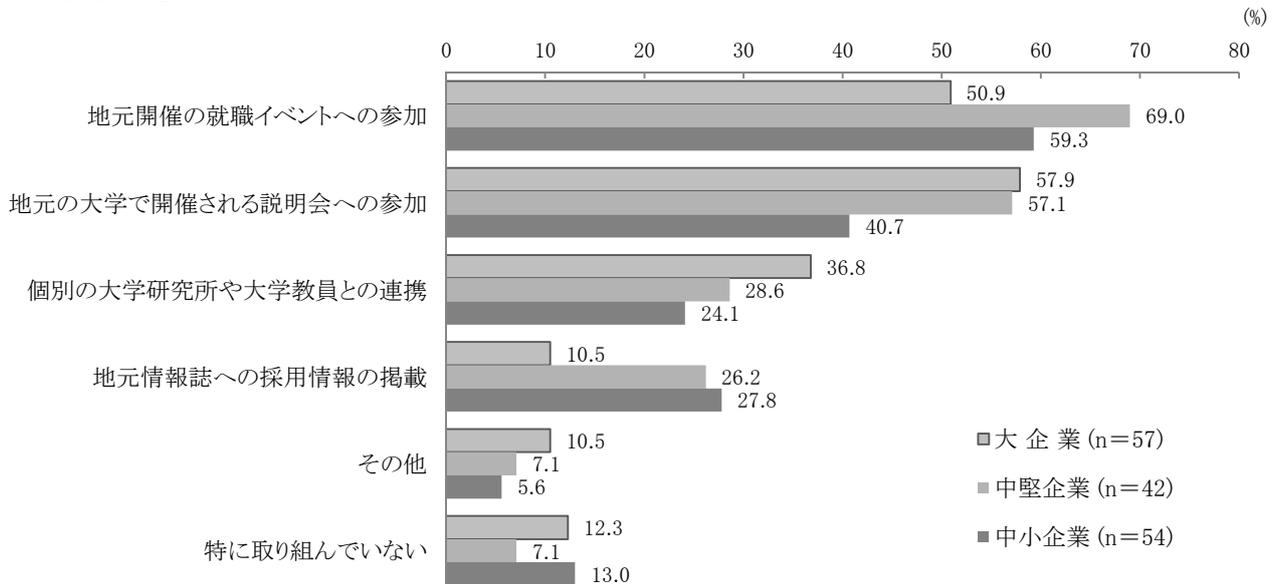
#### 地元からの採用のために重視して取り組んでいること

##### 【業種別】



#### 地元からの採用のために重視して取り組んでいること

##### 【規模別】



◎その他の具体的な回答

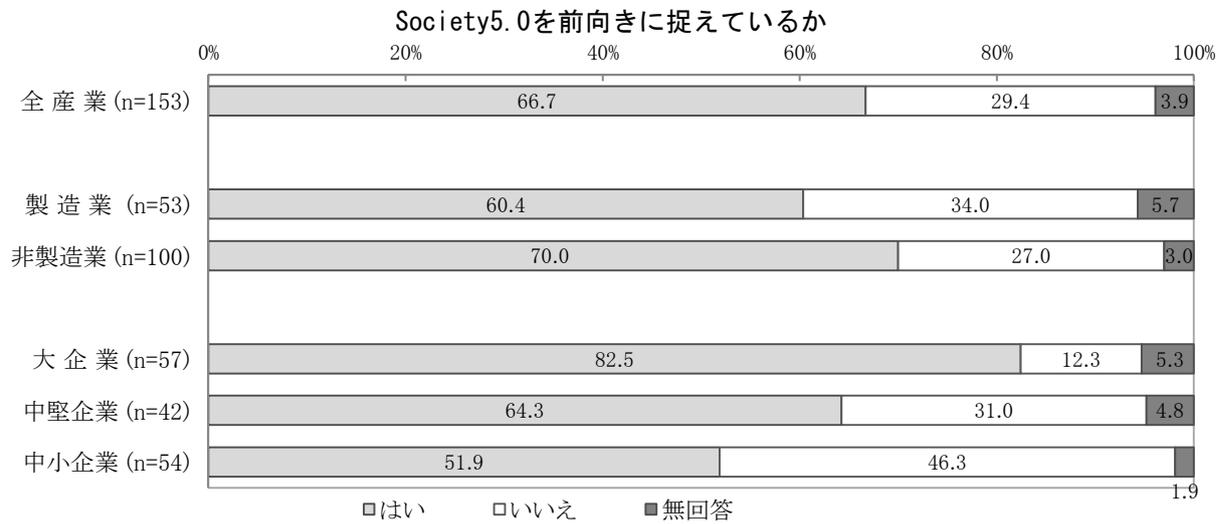
- ・ テレビCMの活用
- ・ インターンシップ実施
- ・ リクレーター活用
- ・ 就職Webサイトの活用
- ・ 行政との連携
- ・ 地元大学での単独会社説明会を開催

## IV その他

2. 貴社のSociety5.0実現にむけての取組み状況についてお聞きします。

### Q.1

Society5.0について前向きに捉えていますか。

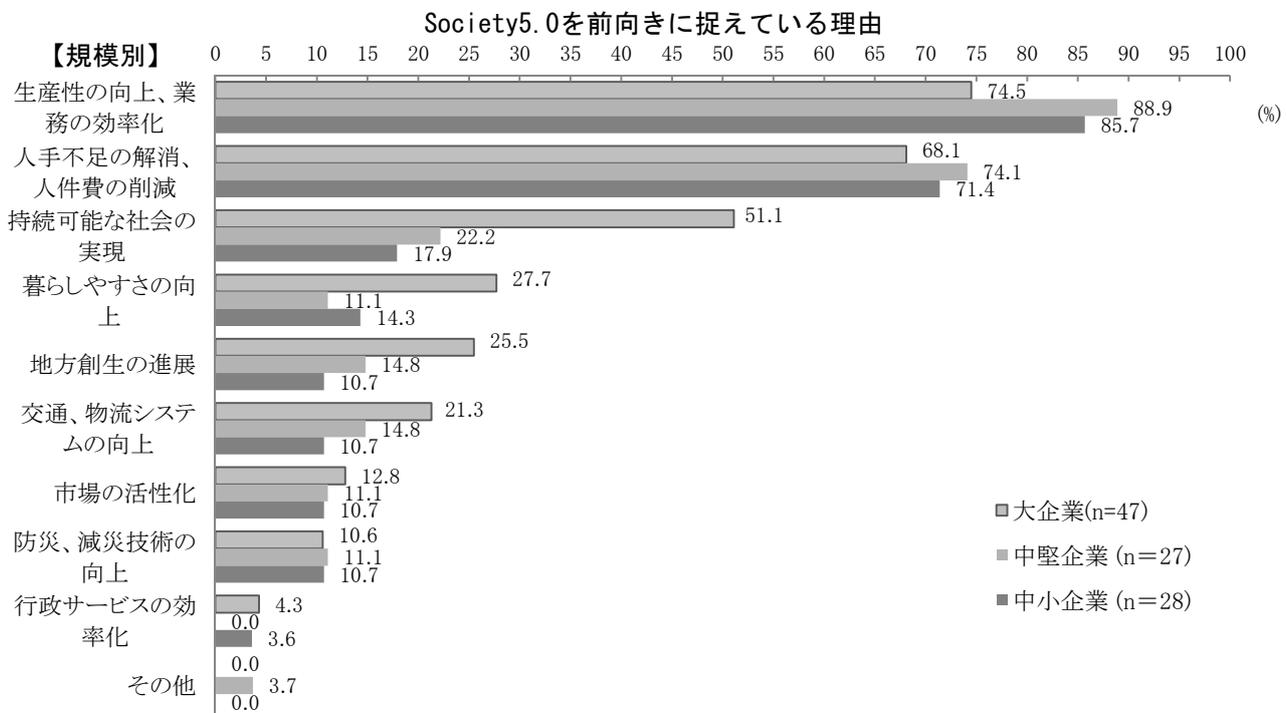
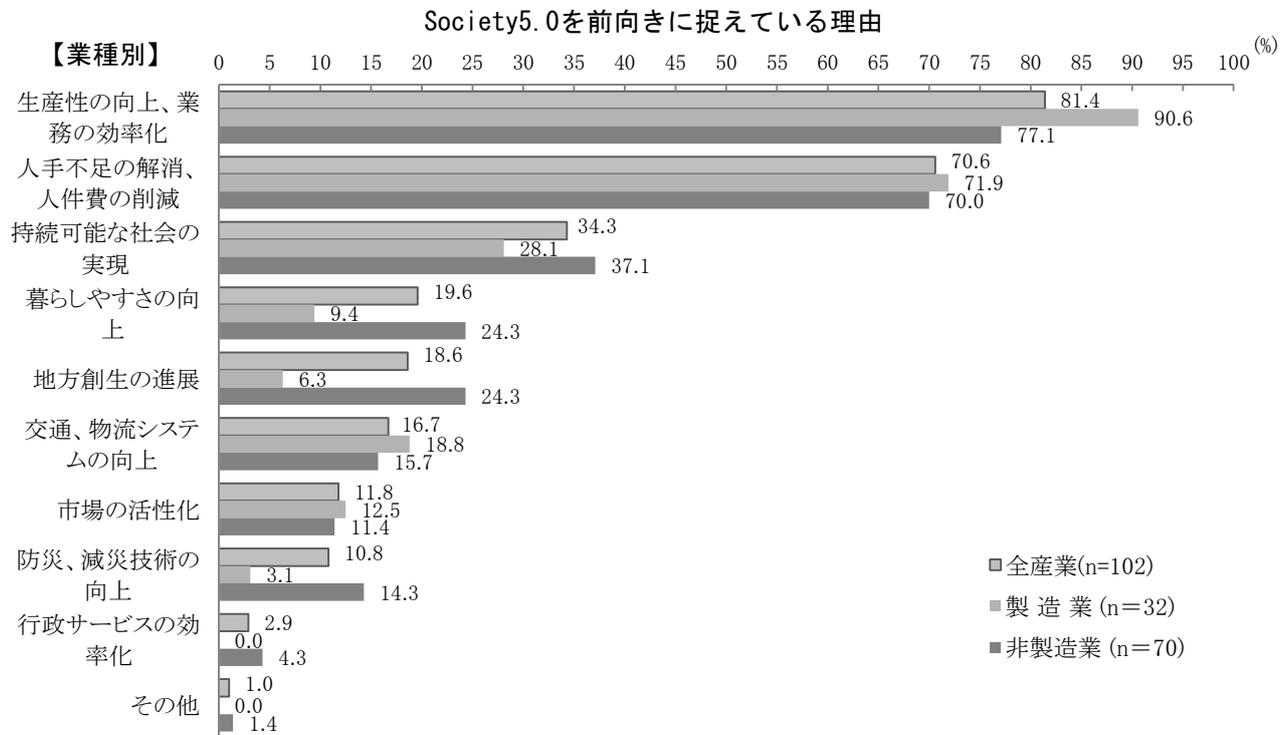


## IV その他

2. 貴社のSociety5.0実現にむけての取組み状況についてお聞きます。

### Q.2

前問Q1で前向きに捉えているとお答えになった方へ  
Society5.0に対し前向きに捉えている理由はなんですか。（複数回答可）



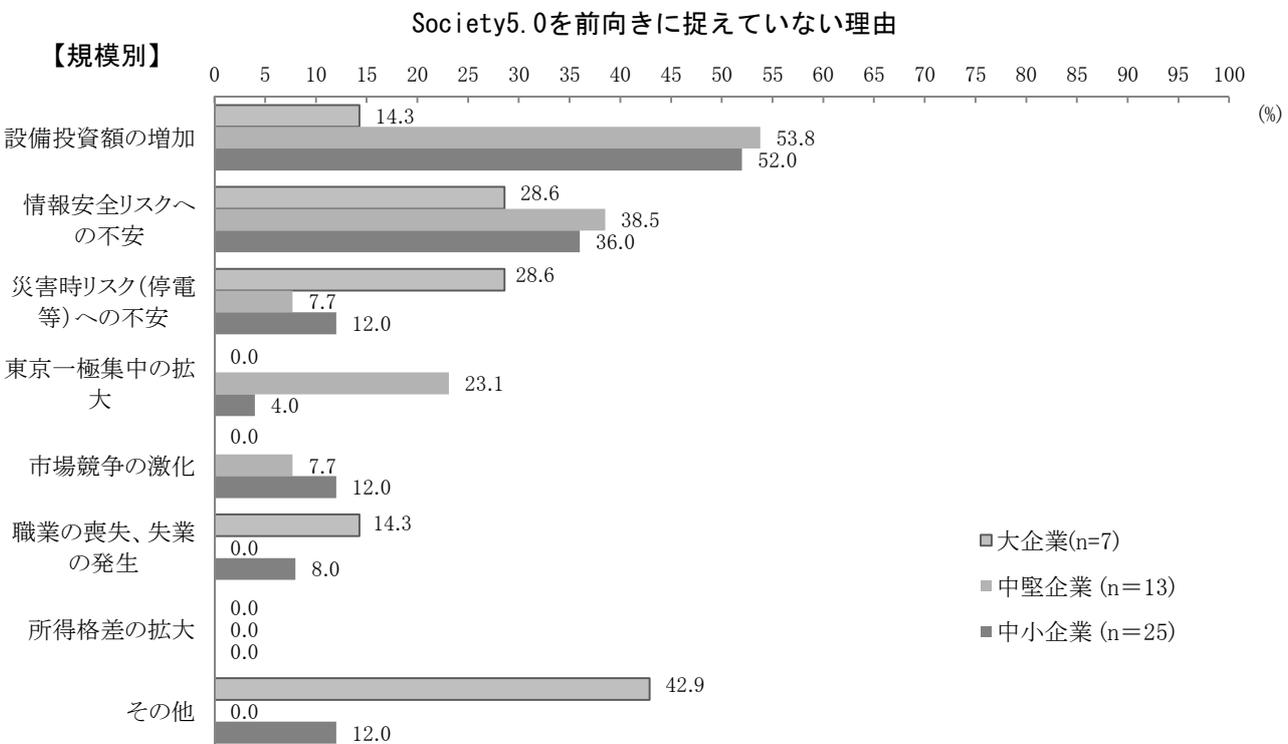
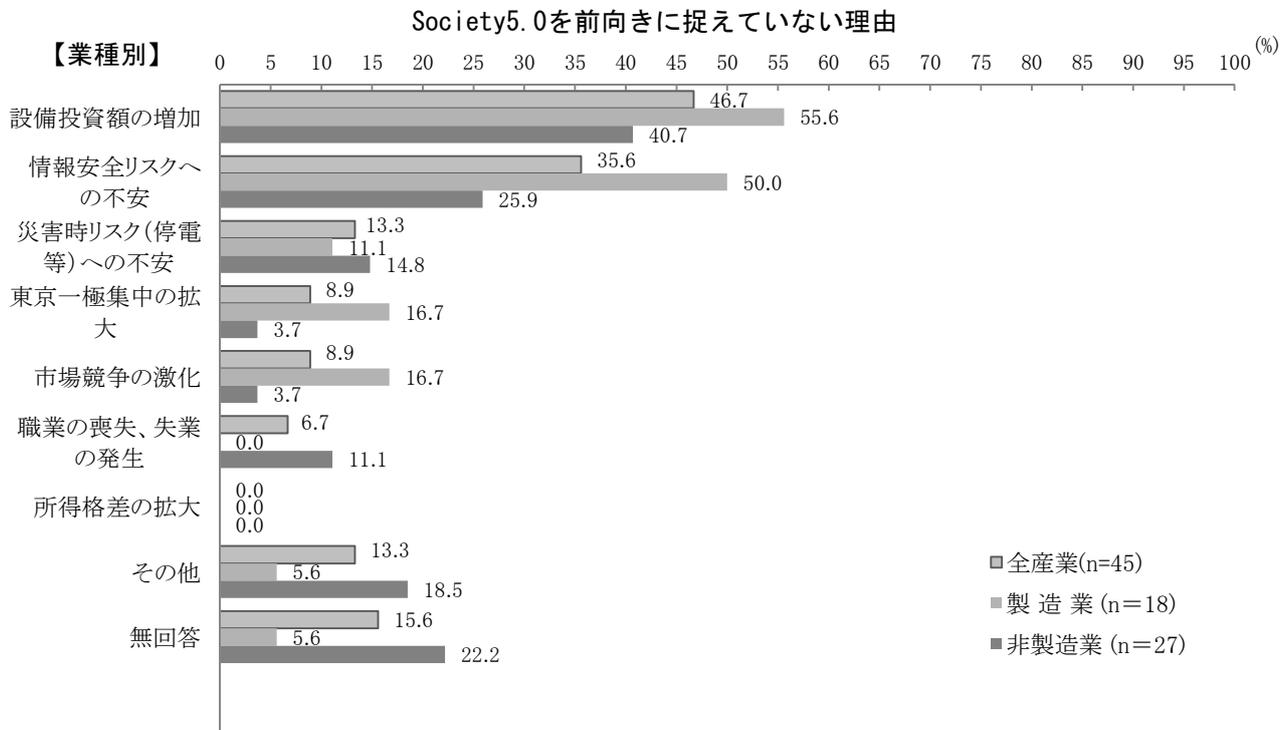
◎その他の具体的な回答  
・ 高齢化対策(人材・経験・技術力の補充対応)

## IV その他

2. 貴社のSociety5.0実現にむけての取組み状況についてお聞きします。

### Q.3

前問Q1で前向きに捉えていないとお答えになった方へ  
Society5.0に対し前向きに捉えていない理由は何ですか。(複数回答可)



◎その他の具体的な回答

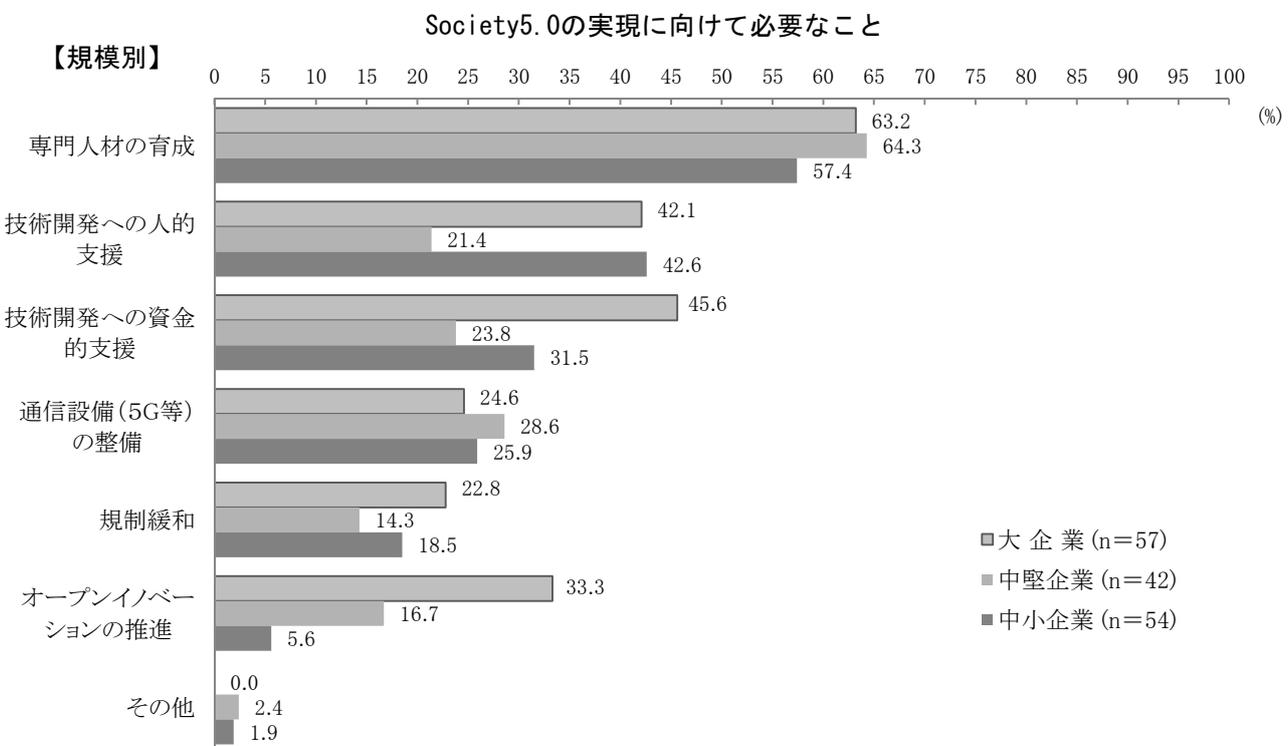
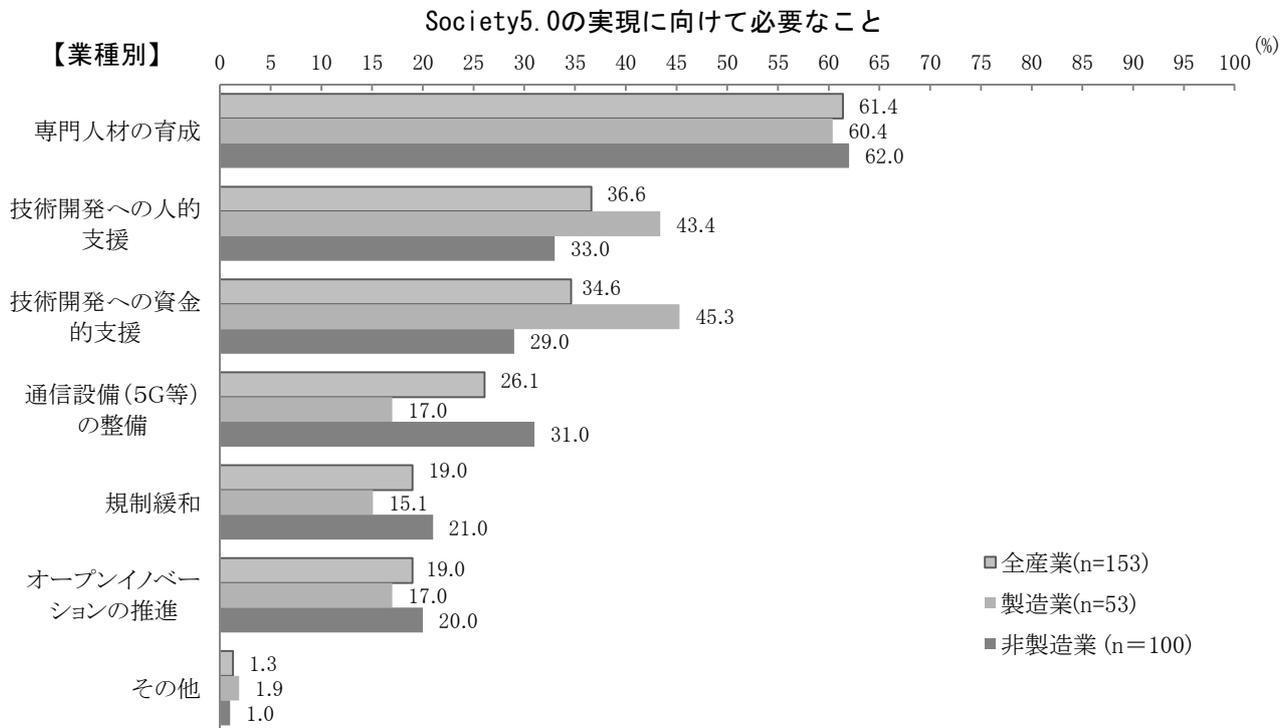
- ・内容を詳細に理解していない
- ・Society5.0は進まない

## IV その他

2. 貴社のSociety5.0実現にむけての取組み状況についてお聞きします。

### Q.4

Society5.0の実現に向けて必要だと思うことはなんですか。（複数回答可）



◎その他の具体的な回答

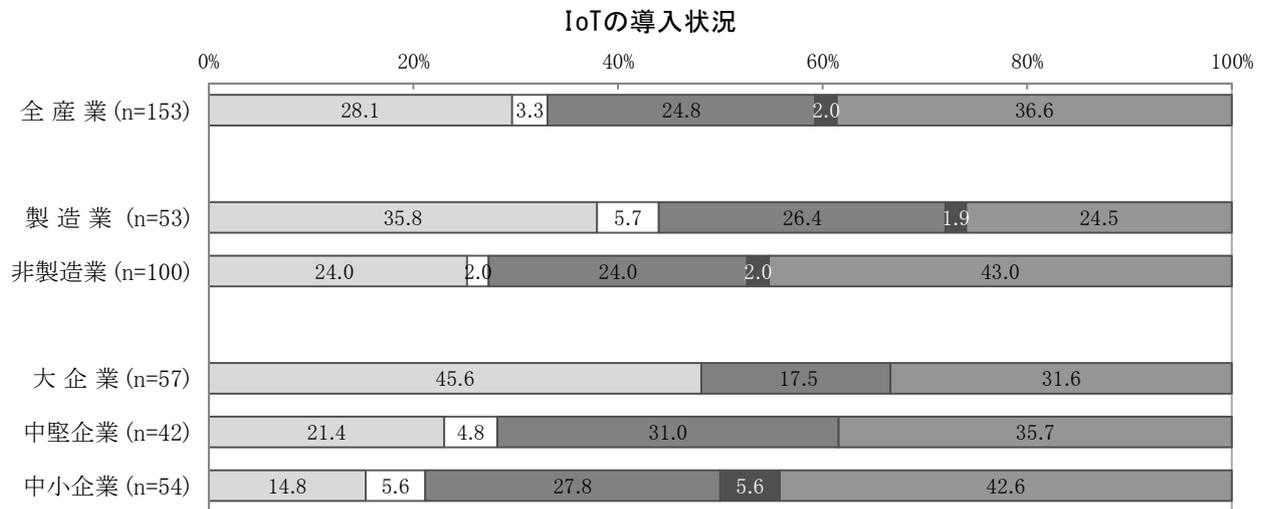
- ・ 既往提携業務の見直し、削減

## IV その他

2. 貴社のSociety5.0実現にむけての取組み状況についてお聞きます。

### Q.5

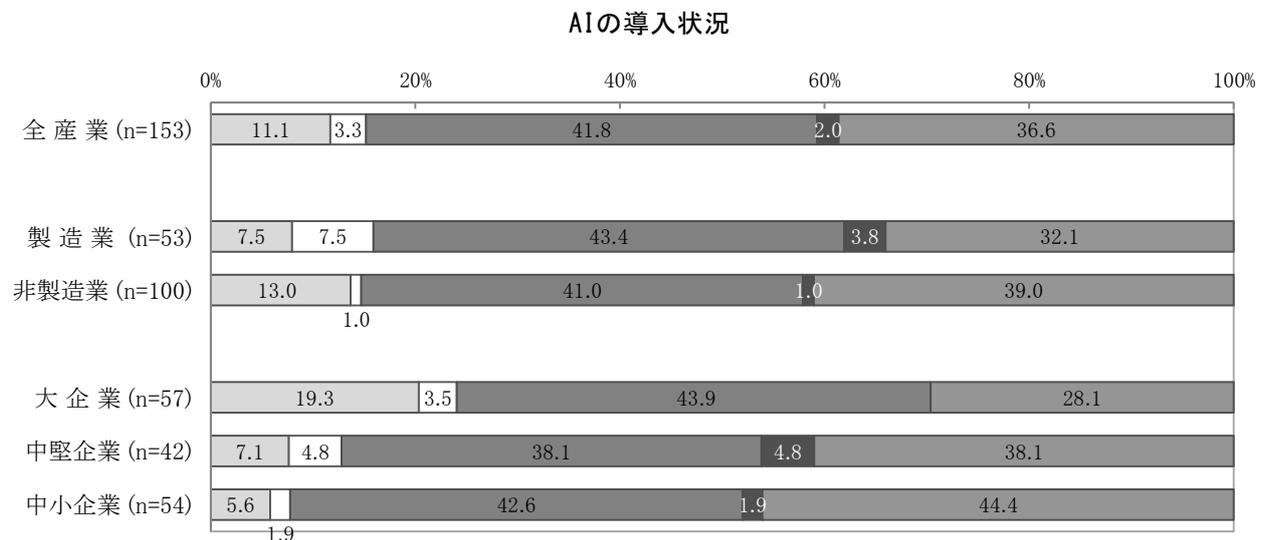
貴社ではIoT（モノのインターネット）を導入していますか。



既に導入している
 1年以内に導入予定
 いずれは導入する予定
 将来的にも導入しない
 未定

### Q.6

貴社ではAI（人工知能）を導入していますか。



既に導入している
 1年以内に導入予定
 いずれは導入する予定
 将来的にも導入しない
 未定





はじめよう、北陸サクセス。

2019年4月発行

## **北陸経済連合会**

***HOKURIKU ECONOMIC FEDERATION***

〒920-0981 金沢市片町2-2-15 北国ビルディング4階

TEL : 076-232-0472 FAX : 076-262-8127

e-mail [info@hokkeiren.gr.jp](mailto:info@hokkeiren.gr.jp)

URL <http://www.hokkeiren.gr.jp>

北陸物語 **facebook**

<https://www.facebook.com/hokuriku.monogatari>